

(様式第 10)

徳大院総第 58 号

平成 27 年 1

厚生労働大臣

殿

徳島大学長 香川

徳島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

| | |
|-----|-------------------------|
| 住 所 | 〒770-8501 徳島市新蔵町2丁目24番地 |
| 氏 名 | 徳島大学 |

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

| |
|--------|
| 徳島大学病院 |
|--------|

3 所在の場所

| | |
|------------------------------|-----------------|
| 〒770-8503 徳島市蔵本町2丁目50番地の1 | 電話(088)631-3111 |
|------------------------------|-----------------|

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

| |
|--|
| ①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 |
| ②医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜 |

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

| 内科 | (有) | 無 |
|------------------|------|-------------|
| 内科と組み合わせた診療科名等 | | |
| 1 循環器内科 2 神経内科 3 | 4 | 5 6 7 |
| 8 | 9 10 | 11 12 13 14 |
| 診療実績 | | |

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

| | | | | | | | |
|---------------|---------|--------|----|----|----|----|--|
| 外科 | (有) ・ 無 | | | | | | |
| 外科と組み合わせた診療科名 | | | | | | | |
| 1 心臓血管外科 | 2 形成外科 | 3 小児外科 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | |
| 診療実績 | | | | | | | |

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

| | | | | | | |
|----------|------|-------|--------|-------|----------|-------|
| ①精神科 | ②小児科 | ③整形外科 | ④脳神経外科 | ⑤皮膚科 | ⑥泌尿器科 | ⑦産婦人科 |
| 8産科 | 9婦人科 | ⑩眼科 | ⑪耳鼻咽喉科 | ⑫放射線科 | 13放射線診断科 | |
| 14放射線治療科 | ⑮麻酔科 | ⑯救急科 | | | | |

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

| | | | | | | | |
|---------------|---------|----------|---|---|---|---|--|
| 歯科 | (有) ・ 無 | | | | | | |
| 歯科と組み合わせた診療科名 | | | | | | | |
| 1 矯正歯科 | 2 小児歯科 | 3 歯科口腔外科 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
| 歯科の診療体制 | | | | | | | |

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

| | | | | | | |
|---------|--------------|----|----|----|----|----|
| 1 病理診断科 | 2 リハビリテーション科 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

| | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-------|-------|
| 精神 | 感染症 | 結核 | 療養 | 一般 | 合計 |
| 45 床 | 8 床 | 0 床 | 0 床 | 643 床 | 696 床 |

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月 1日現在)

| 職 種 | 常 勤 | 非常勤 | 合 計 | 職 種 | 員 数 | 職 種 | 員 数 |
|-----------|-------|-------|--------|---------------|------|-------------|-------|
| 医 師 | 242 人 | 198 人 | 400.3人 | 看 護 補 助 者 | 42 人 | 診療エックス線技師 | 0 人 |
| 歯 科 医 師 | 91 人 | 72 人 | 139 人 | 理 学 療 法 士 | 12 人 | 臨床検査技師 | 54 人 |
| 薬 剤 師 | 45 人 | 0 人 | 45 人 | 作 業 療 法 士 | 6 人 | 衛生検査技師 | 0 人 |
| 保 健 師 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 視 能 訓 練 士 | 7 人 | そ の 他 | 0 人 |
| 助 産 師 | 37 人 | 0 人 | 37 人 | 義 肢 装 具 士 | 0 人 | あん摩マッサージ指圧師 | 0 人 |
| 看 護 師 | 642 人 | 42 人 | 678.9人 | 臨 床 工 学 技 師 | 15 人 | 医療社会事業従事者 | 13 人 |
| 准 看 護 師 | 0 人 | 4 人 | 3.5人 | 栄 養 士 | 0 人 | その他の技術員 | 50 人 |
| 歯 科 衛 生 士 | 10 人 | 6 人 | 15 人 | 歯 科 技 工 士 | 7 人 | 事 務 職 員 | 143 人 |
| 管理栄養士 | 9 人 | 5 人 | 11.7人 | 診 療 放 射 線 技 師 | 42 人 | そ の 他 の 職 員 | 1 人 |

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年10月 1日現在)

| 専門医名 | 人 数 | 専門医名 | 人 数 |
|---------------|------|-----------------|-------|
| 総合内科専門医 | 27 人 | 眼 科 専 門 医 | 11 人 |
| 外 科 専 門 医 | 37 人 | 耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医 | 11 人 |
| 精 神 科 専 門 医 | 12 人 | 放 射 線 科 専 門 医 | 19 人 |
| 小 児 科 専 門 医 | 16 人 | 脳 神 経 外 科 専 門 医 | 21 人 |
| 皮 膚 科 専 門 医 | 6 人 | 整 形 外 科 専 門 医 | 19 人 |
| 泌 尿 器 科 専 門 医 | 10 人 | 麻 酔 科 専 門 医 | 21 人 |
| 産 婦 人 科 専 門 医 | 20 人 | 救 急 科 専 門 医 | 3 人 |
| | | 合 計 | 233 人 |

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

| | 歯 科 等 以 外 | 歯 科 等 | 合 計 |
|--------------|-----------|-----------|-----------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 546.5 人 | 17.2 人 | 563.7 人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1,326.0 人 | 456.5 人 | 1,782.6 人 |
| 1日当たり平均調剤数 | 入院：467.0剤 | 外来：197.1剤 | |
| 必要医師数 | | | 135人 |
| 必要歯科医師数 | | | 26人 |
| 必要薬剤師数 | | | 19人 |
| 必要(准)看護師数 | | | 342人 |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

| 施設名 | 床面積 | 主要構造 | 設 備 概 要 | | | |
|----------|---|----------|--|-----|---------|---------|
| 集中治療室 | 225.5m ² | 鉄筋コンクリート | 病床数 | 11床 | 心電計 | 有・無 |
| | | | 人工呼吸装置 | 有・無 | 心細動除去装置 | 有・無 |
| | | | その他の救急蘇生装置 | 有・無 | ペースメーカー | 有・無 |
| 無菌病室等 | [固定式の場合] 床面積 495 m ² [移動式の場合] 台数 0台 | | 病床数 | 28床 | | |
| 医薬品情報管理室 | [専用室の場合] 床積 32 m ² [共用室の場合] 共用する室名 | | | | | |
| 化学検査室 | 72m ² | 鉄筋コンクリート | (主な設備) 自動開栓受付分注装置, 全自動生化学分析装置 | | | |
| 細菌検査室 | 260m ² | 鉄筋コンクリート | (主な設備) 細菌同定薬剤感受性測定装置, 抗酸菌培養装置, 細菌検査装置 | | | |
| 病理検査室 | 352m ² | 鉄筋コンクリート | (主な設備) 自動免疫染色装置, SL医用写真撮影装置 | | | |
| 病理解剖室 | 161m ² | 鉄筋コンクリート | (主な設備) 解剖台, スケール付ストレッチャー | | | |
| 研究室 | 253m ² | 鉄筋コンクリート | (主な設備) マルチスライスCT, 四肢用MRI, 回診用X線装置 | | | |
| 講義室 | 885m ² | 鉄筋コンクリート | 室数 | 26室 | 収容定員 | 553人 |
| 図書室 | 133m ² | 鉄筋コンクリート | 室数 | 2室 | 蔵書数 | 6000冊程度 |

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

| 算定期間 | | 平成26年4月1日～平成27年3月31日 | |
|------|------------------------|----------------------|-------|
| 紹介率 | 77.4% | 逆紹介率 | 56.4% |
| 算出根拠 | A: 紹介患者の数 | 16,563人 | |
| | B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数 | 12,623人 | |
| | C: 救急用自動車によって搬入された患者の数 | 764人 | |
| | D: 初診の患者の数 | 22,376人 | |

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療 該当ありません。

| | | | |
|-----------|--|-------|---|
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名 | 取扱患者数 | 疾患名 | 取扱患者数 |
|--|-------|---|-------|
| ・ベーチェット病 | 52人 | ・膿疱性乾癬 | 14人 |
| ・多発性硬化症 | 80人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 14人 |
| ・重症筋無力症 | 88人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 31人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 187人 | ・重症急性膵炎 | 1人 |
| ・スモン | 14人 | ・特発性大腿骨頭壊死症 | 0人 |
| ・再生不良性貧血 | 26人 | ・混合性結合組織病 | 35人 |
| ・サルコイドーシス | 108人 | ・原発性免疫不全症候群 | 4人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 42人 | ・特発性間質性肺炎 | 24人 |
| ・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 100人 | ・網膜色素変性症 | 0人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 23人 | ・プリオン病 | 0人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 41人 | ・肺動脈性肺高血圧症 | 7人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 135人 | ・神経線維腫症 | 24人 |
| ・大動脈炎症候群 | 21人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 0人 |
| ・ピュルガー病 | 13人 | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群 | 3人 |
| ・天疱瘡 | 29人 | ・慢性血栓塞栓性肺高血圧症 | 2人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 70人 | ・ライソゾーム病 | 3人 |
| ・クローン病 | 65人 | ・副腎白質ジストロフィー | 0人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 0人 | ・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体) | 0人 |
| ・悪性関節リウマチ | 7人 | ・脊髄性筋萎縮症 | 4人 |
| ・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病) | 197人 | ・球脊髄性筋萎縮症 | 8人 |
| ・アミロイドーシス | 10人 | ・慢性炎症性脱髄性多発神経炎 | 0人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 133人 | ・肥大型心筋症 | 15人 |
| ・ハンチントン病 | 0人 | ・拘束型心筋症 | 0人 |
| ・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症) | 5人 | ・ミトコンドリア病 | 2人 |
| ・ウェゲナー肉芽腫症 | 2人 | ・リンパ脈管筋腫症(LAM) | 1人 |
| ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症 | 43人 | ・重症多形滲出性紅斑(急性期) | 0人 |
| ・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群) | 41人 | ・黄色靭帯骨化症 | 0人 |
| ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型) | 1人 | ・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症) | 80人 |

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

| 施設基準の種類 | 施設基準の種類 |
|------------------|-------------------|
| ・地域歯科診療支援病院歯科初診料 | ・退院調整加算 |
| ・歯科外来診療環境体制加算 | ・総合評価加算 |
| ・歯科診療特別対応連携加算 | ・病棟薬剤業務実施加算 |
| ・特定機能病院入院基本料 | ・データ提出加算 |
| ・臨床研修病院入院診療加算 | ・地域歯科診療支援病院入院加算 |
| ・救急医療管理加算 | ・特定集中治療室管理料2 |
| ・超急性期脳卒中加算 | ・脳卒中ケアユニット入院医療管理料 |
| ・妊産婦緊急搬送入院加算 | ・総合周産期特定集中治療室管理料 |
| ・診療録管理体制加算1 | ・新生児治療回復室入院医療管理料 |
| ・急性期看護補助体制加算 | ・一類感染症患者入院医療管理料 |
| ・看護補助加算 | ・小児入院医療管理料2 |
| ・療養環境加算 | ・短期滞在手術等基本料1 |
| ・重症者等療養環境特別加算 | ・短期滞在手術等基本料2 |
| ・無菌治療室管理加算1 | ・入院時食事療養/生活療養(I) |
| ・無菌治療室管理加算2 | ・ |
| ・緩和ケア診療加算 | ・ |
| ・精神科身体合併症管理加算 | ・ |
| ・摂食障害入院医療管理加算 | ・ |
| ・がん診療連携拠点病院加算 | ・ |
| ・栄養サポートチーム加算 | ・ |
| ・医療安全対策加算1 | ・ |
| ・感染防止対策加算1 | ・ |
| ・患者サポート体制充実加算 | ・ |
| ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算 | ・ |
| ・ハイリスク妊娠管理加算 | ・ |
| ・ハイリスク分娩管理加算 | ・ |

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

| 施設基準の種類 | 施設基準の種類 |
|-------------------------------|---------------------------|
| ・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行期加算) | ・検体検査管理加算(I) |
| ・高度難聴指導管理料 | ・検体検査管理加算(IV) |
| ・糖尿病合併症管理料 | ・遺伝カウンセリング加算 |
| ・がん性疼痛緩和指導管理料 | ・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算 |
| ・がん患者指導管理料1 | ・植込型心電図検査 |
| ・がん患者指導管理料2 | ・時間内歩行試験 |
| ・がん患者指導管理料3 | ・胎児心エコー法 |
| ・外来緩和ケア管理料 | ・ヘッドアップティルト試験 |
| ・移植後患者指導管理料(臓器移植後) | ・人工臓腑 |
| ・糖尿病透析予防指導管理料 | ・皮下連続式グルコース測定 |
| ・外来リハビリテーション診療料 | ・長期継続頭蓋内脳波検査 |
| ・外来放射線照射診療料 | ・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図 |
| ・ニコチン依存症管理料 | ・神経学的検査 |
| ・地域連携診療計画管理料 | ・補聴器適合検査 |
| ・がん治療連携計画策定料 | ・ロービジョン検査判断料 |
| ・がん治療連携管理料 | ・コンタクトレンズ検査料1 |
| ・肝炎インターフェロン治療計画料 | ・小児食物アレルギー負荷検査 |
| ・薬剤管理指導料 | ・内服・点滴誘発試験 |
| ・医療機器安全管理料1 | ・センチネルリンパ節生検(併用) |
| ・医療機器安全管理料2 | ・センチネルリンパ節生検(単独) |
| ・医療機器安全管理料(歯科) | ・CT透視下気管支鏡検査加算 |
| ・歯科治療総合医療管理料 | ・画像診断管理加算1 |
| ・在宅患者歯科治療総合医療管理料 | ・歯科画像診断管理加算1 |
| ・持続血糖測定器加算 | ・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影 |
| ・造血器腫瘍遺伝子検査 | ・CT撮影及びMRI撮影 |
| ・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定) | ・冠動脈CT撮影加算 |

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

| 施設基準の種類 | 施設基準の種類 |
|---|---|
| ・大腸CT撮影加算 | ・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。) |
| ・心臓MRI撮影加算 | ・腫瘍脊椎骨全摘術 |
| ・抗悪性腫瘍剤処方管理加算 | ・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術 |
| ・外来化学療法加算1 | ・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術 |
| ・無菌製剤処理料 | ・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの)) |
| ・心大血管疾患リハビリテーション料(I) | ・網膜再建術 |
| ・脳血管疾患等リハビリテーション料(I) | ・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術 |
| ・運動器リハビリテーション料(I) | ・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術) |
| ・呼吸器リハビリテーション料(I) | ・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科), 下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科) |
| ・がん患者リハビリテーション料 | ・乳がんセンチネルリンパ節加算1 |
| ・歯科口腔リハビリテーション料2 | ・乳がんセンチネルリンパ節加算2 |
| ・認知療法・認知行動療法1 | ・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後) |
| ・精神科作業療法 | ・経皮的冠動脈形成術 |
| ・精神科ショート・ケア「小規模なもの」 | ・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) |
| ・精神科デイ・ケア「小規模なもの」 | ・経皮的冠動脈ステント留置術 |
| ・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。) | ・経皮的中隔心筋焼灼術 |
| ・医療保護入院等診療料 | ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 |
| ・エタノールの局所注入(甲状腺) | ・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術 |
| ・エタノールの局所注入(副甲状腺) | ・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術 |
| ・透析液水質確保加算1 | ・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの) |
| ・一酸化窒素吸入療法 | ・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術 |
| ・う蝕歯無痛的窩洞形成加算 | ・大動脈バルーンポンピング法(IABP法) |
| ・CAD/CAM冠 | ・補助人工心臓 |
| ・歯科技工加算 | ・経皮的大動脈遮断術 |
| ・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算 | ・ダメージコントロール手術 |
| ・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。) | ・腹腔鏡下肝切除術 |

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

| 施設基準の種類 | 施設基準の種類 |
|---|--|
| ・生体部分肝移植術 | ・体外照射呼吸性移動対策加算 |
| ・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術 | ・直線加速器による放射線治療(定位放射線治療) |
| ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術 | ・定位放射線治療呼吸性移動対策加算 |
| ・同種死体腎移植術 | ・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製 |
| ・生体腎移植術 | ・病理診断管理加算2 |
| ・膀胱水圧拡張術 | ・口腔病理診断管理加算2 |
| ・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 | ・クラウン・ブリッジ維持管理料 |
| ・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 | ・歯科矯正診断料 |
| ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る) | ・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの) |
| ・胎児胸腔・羊水腔シャント術 | |
| ・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術 | |
| ・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術 | |
| ・輸血管理料 I | |
| ・内視鏡手術用支援機器加算 | |
| ・胃瘻造設時嚥下機能評価加算 | |
| ・歯周組織再生誘導手術 | |
| ・手術時歯根面レーザー応用加算 | |
| ・広範囲顎骨支持型装置埋入手術 | |
| ・麻酔管理料(I) | |
| ・麻酔管理料(II) | |
| ・放射線治療専任加算 | |
| ・外来放射線治療加算 | |
| ・高エネルギー放射線治療 | |
| ・1回線量増加加算 | |
| ・強度変調放射線治療(IMRT) | |
| ・画像誘導放射線治療(IGRT) | |

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|--------|------------|-----------|---------------|
| 大動脈瘤形成におけるヘパリンコファクターIIの臨床的意義および病態分子機構の解明 | 伊勢 孝之 | 循環器内科 | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 炎症からのアプローチによる心房細動の診断・治療法の確立 | 坂東 左知子 | 循環器内科 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| グレリンの多面的効果による難治性非虚血性心疾患治療法の開発 | 添木 武 | 循環器内科学 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| C型ナトリウム利尿ペプチドの多面的作用を活かした難治性心疾患治療法の開発 | 植松 悦子 | 循環器内科学 | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| アンドロゲン受容体を介した性差依存および非依存性心血管リモデリング制御機構の解明 | 栗飯原 賢一 | 生体情報内科学 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| がん酸性環境がもたらすがん細胞の薬剤耐性獲得機序の解明と新規治療薬の開発 | 中村 信元 | 血液内科 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 腸電位計測による過敏性腸症候群診断システムの構築 | 香川 美和子 | 消化器内科 | 2,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 潰瘍性大腸炎におけるdysplasiaの高感度分子イメージング法の開発 | 六車 直樹 | 消化器内科学 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| Barrett食道癌を特異的に認識する分子イメージングシステムの構築 | 北村 晋志 | 消化器内科学 | 2,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ヒト肺がん脳転移モデルを用いた新規脳転移療法開発のための探索的研究 | 埴淵 昌毅 | 呼吸器・膠原病内科学 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 肺癌・中皮腫の微小環境に着目したベバシズマブの耐性関連バイオマーカーの探索 | 後東 久嗣 | 呼吸器・膠原病内科学 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 光コヒーレントモグラフィを用いた新しい神経筋画像検査の確立 | 大崎 裕亮 | 神経内科 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ジストニアの機能病理に関する実験的研究 | 後藤 恵 | 先端運動障害治療学 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 軸索膜電位とイオンチャネル機能異常をターゲットとしたALSの新規治療法の開発 | 野寺 裕之 | 臨床神経科学 | 700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| プリオン病においてNMDA型グルタミン酸受容体抗体が病態に果たす役割の解明 | 藤田 浩司 | 臨床神経科学 | 1,900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 加齢ならびに高血圧による腎硬化症の分子診断法の開発 | 安部 尚子 | 腎臓内科 | 1,700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| IRS1/インスリンシグナルによるポドサイト障害修復メカニズムの解明 | 美馬 晶 | 腎臓内科学 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| Epigeneticsに着目した加齢肝機能不全の解明と制御に関する研究 | 森根 裕二 | 消化器・移植外科学 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 脂肪由来幹細胞の治療効果増強のためのホーミング機序解明と制御 | 島田 光生 | 消化器・移植外科学 | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 腸管傷害修復における幹細胞を介したソニックヘッジホッグ発現機序の解明 | 吉川 幸造 | 消化器・移植外科学 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 脂肪組織由来幹細胞を用いた三次元腸管組織再生法の開発 | 石橋 広樹 | 消化器・移植外科学 | 1,600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 加齢と肝虚血再灌流傷害・再生制御における肝星細胞と小胞体ストレス応答に関する研究 | 荒川 悠佑 | 消化器・移植外科学 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 肺癌患者における術中胸膜浸潤の蛍光診断と胸膜下ルートを通るリンパ節転移の解明 | 滝沢 宏光 | 呼吸器外科 | 500,000 | 補委 日本学術振興会 |

| | | | | | |
|--|--------|--------------|-----------|----|---------|
| 喫煙肺腺癌特異的なエピゲノム異常を指標にした新規診断・治療標的遺伝子の同定 | 梶浦 耕一郎 | 呼吸器外科 | 1,100,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| タキサン併用術前化学療法の食道癌への効果予測因子と予後規定因子の解明 | 丹黒 章 | 胸部・内分泌・腫瘍外科学 | 400,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 血管リモデリングにおけるマクロファージ低酸素応答性転写因子Hifの役割 | 木下 肇 | 心臓血管外科 | 1,200,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 生体分解性径カテーテル的ASD孔閉鎖デバイスの開発 | 黒部 裕嗣 | 心臓血管外科学 | 1,300,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 悪性神経膠腫に対するAd-REICの抗腫瘍効果とWntシグナル制御の分子機構 | 溝淵 佳史 | 脳神経外科 | 1,900,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 悪性神経膠腫に対するGc-MAFの抗腫瘍効果とその分子機構 | 中島 公平 | 脳神経外科 | 1,400,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 脳動脈瘤形成増大における体内塩分貯留の意義と分子機序 | 里見 淳一郎 | 脳神経外科学 | 500,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 腰椎分離症の発生メカニズムの解明 | 酒井 紀典 | 運動機能外科学 | 1,300,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 血行動態に着目した肘離断性骨軟骨炎の病態解明と新治療法の開発 | 松浦 哲也 | 運動機能外科学 | 2,400,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| V型ATPaseにより形成される酸性環境を標的とした肉腫新規治療の開発 | 西庄 俊彦 | 運動機能外科学 | 1,300,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 骨端部薬剤持続投与方法による新たな長管骨長径成長制御法の開発 | 江西 哲也 | 整形外科 | 1,100,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 大腿骨頭壊死モデルラットを用いたステロイド性骨壊死発症超早期における病態解明 | 後東 知宏 | 脊椎関節機能再建外科学 | 1,700,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| バーチャルリアリティー(仮想現実)を用いた平衡訓練法の開発 | 武田 憲昭 | 耳鼻咽喉科学 | 900,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 高磁場MRSとNIRSを中間表現型とした強迫性障害の薬物応答遺伝子の研究 | 住谷 さつき | 精神医学 | 2,200,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 脳内アミノ酸系に及ぼす向精神薬の影響—高磁場MRSの精神薬理学的応用— | 大森 哲郎 | 精神医学 | 1,400,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 多嚢胞性卵巣症候群患者に対する治療法の個別化に関する内分泌学的検討 | 苛原 稔 | 産科婦人科学 | 1,200,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 肺高血圧症における内皮由来過分極因子の役割解明と治療応用 | 早瀬 康信 | 小児医学 | 900,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 小児CKD新規治療法開発のための間質線維化での接着分子Hic-5の役割と機能解析 | 近藤 秀治 | 小児医学 | 1,800,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| TGF-β1溶出性グラフトによる先天性心疾患における肺循環 | 阪田 美穂 | 小児科 | 500,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 表皮細胞のゲノム不安定性と発癌制御・進展機構 | 久保 宜明 | 皮膚科学 | 1,300,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 吸入麻酔薬の心保護作用におけるGLP-1受容体の役割 | 大下 修造 | 麻酔・疼痛治療医学 | 500,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 吸入麻酔薬の心筋保護作用における細胞膜マイクロドメインとオートファジーの役割 | 堤 保夫 | 麻酔・疼痛治療医学 | 1,200,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 再生医療における血管新生に及ぼす血管プレコンディショニング効果の検討 | 川人 伸次 | 地域医療人材育成 | 1,800,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| PPARγを標的とした糖尿病網膜症治療 | 三田村 佳典 | 眼科学 | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 重症患者の予後予測マーカーとしての末梢血アデノシン三リン酸の有用性の評価 | 小野寺 睦雄 | 救急集中治療医学 | 500,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 血中脂肪細胞特異的脂肪酸結合蛋白質、脂肪酸分画と糖代謝異常に関する疫学研究 | 秦 明子 | 糖尿病対策センター | 1,300,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 前立腺癌の骨転移におけるガレクチン-3の制御機構の解明 | 福森 知治 | がん診療連携センター | 800,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| HIF-1αによるレニン-アンジオテンシン系の制御が動脈硬化形成に及ぼす影響 | 石澤 啓介 | 臨床薬理学 | 1,500,000 | 補委 | 日本学術振興会 |

| | | | | | |
|--|--------|----------|-----------|----|---------|
| 歯周炎病変局所におけるTh17細胞浸潤・活性化機構の解析 | 細川 義隆 | 歯科保存学 | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 歯周病病変局所におけるTh17細胞に対するAdrenomedullinの影響 | 細川 育子 | 歯科保存学 | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 抗菌成分添加フッ化ジアミンシリケートの齶蝕および酸蝕歯への臨床応用 | 菅 俊行 | 第一保存科 | 1,100,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 糖尿病歯髓の病的石灰化および炎症反応に及ぼす最終糖化産物(AGEs)の影響 | 稲垣 裕司 | 歯周歯内治療学 | 400,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 感染性心内膜炎に及ぼす歯周病原細菌感染度と炎症性サイトカインとの関係 | 二宮 雅美 | 歯周歯内治療学 | 1,300,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 糖尿病関連歯周炎におけるHMGB1-RAGEの役割 | 中島 由紀子 | 歯周歯内治療学 | 1,700,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 咀嚼の質を測る:食品表現型、感覚、脳活動からの総体的アプローチ | 市川 哲雄 | 口腔顎顔面補綴学 | 2,600,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| ストレス刺激に応答するmiRNAと口腔内への分泌の解明 | 市川 哲雄 | 口腔顎顔面補綴学 | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| チタンに対する過敏反応を検証する | 渡邊 恵 | 第一補綴科 | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 歯への機械的刺激の中樞伝達メカニズムー咬合感覚違和感患者の治療法開発に向けてー | 松香 芳三 | 顎機能咬合再建学 | 4,200,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 睡眠時ブラキシズム発現時の咬合の可視化 | 重本 修伺 | 顎機能咬合再建学 | 1,100,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| ボツリヌス毒素を用いた咬合感覚異常に対する治療法の開発 | 松香 芳三 | 顎機能咬合再建学 | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 「噛み心地」に対する顎機能評価基準の確立 | 田島 登誉子 | 第二補綴科 | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 心理テストを用いた顎関節症患者の前向き調査 | 竹内 久裕 | 第二補綴科 | 700,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 3T-MR撮影対応型非磁性血管内ステントおよび脳血管クリップの実用化 | 菅田 栄一 | 歯科放射線学 | 1,500,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| ポリADP-リボース合成酵素(PARP)を分子標的とした口腔癌の新規治療法の開発 | 玉谷 哲也 | 口腔外科 | 1,200,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| ゼラチン複合型炭酸アパタイトフォームの創製と顎骨再生への応用 | 藤澤 健司 | 口腔外科 | 900,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 不死化歯原性細胞との相互作用を利用した人工多能性幹(iPS)細胞による歯再生医療 | 永井 宏和 | 口腔外科学 | 1,200,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| CXCR4システムを介した口腔癌の転移機構におけるmiR-518c-5pの役割 | 内田 大亮 | 口腔外科学 | 1,600,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| CXCR4標的分子mGluR5を介した口腔癌の転移機構におけるmiR-30の役割 | 栗林 伸行 | 口腔外科学 | 2,000,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 歯髓炎の病態形成における歯髓細胞の細菌由来因子に対する自然免疫機構の解明 | 武川 大輔 | 口腔内科 | 1,400,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 口腔癌に対するNF- κ Bを分子標的とした併用化学療法の開発 | 可児 耕一 | 口腔内科 | 1,500,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 口腔扁平苔癬に対する新規疾患病因論とそれに基づく治療戦略 | 東 雅之 | 口腔内科学 | 800,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 長寿遺伝子Sirtuin 3の吸入麻酔薬による心筋保護作用における役割 | 北畑 洋 | 歯科麻酔科学 | 1,500,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| TRPA1チャネル阻害剤を応用した薬物性歯肉増殖症の治療薬の開発 | 中川 弘 | 小児歯科 | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 広汎性発達障害児者の歯科受診における効果的な行動調整支援プログラムの開発 | 郡 由紀子 | 小児歯科 | 900,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 歯周組織の恒常性維持機構における歯根膜機能の解析および新しい歯周組織再建法の開発 | 長谷川 智一 | 小児歯科学 | 1,200,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 脱落乳歯歯髓幹細胞による神経再生に関する研究 | 北村 尚正 | 小児歯科学 | 900,000 | 補委 | 日本学術振興会 |

| | | | | | |
|---|--------|------------------|------------|--------|---------------|
| 慢性筋萎縮性疾患に対する核酸創薬の 開発研究 | 木内 奈央 | 矯正歯科 | 900,000 | 補 委 | 日本学術振興会 |
| 糖尿病による歯周病悪化での小胞体スト レス応答伝達タンパク質ATF6の役割の 解明 | 高原 一菜 | 矯正歯科 | 1,000,000 | 補 委 | 日本学術振興会 |
| ナノ加工チタンインプラントの臨床応用を 目指したメカニカルストレスによる骨形成 促進 | 黒田 晋吾 | 口腔顎顔面矯正学 | 1,600,000 | 補 委 | 日本学術振興会 |
| RANKL/Fasを介した関節リウマチにおけ る骨軟骨破壊機構の解明 | 井澤 俊 | 口腔顎顔面矯正学 | 5,400,000 | 補 委 | 日本学術振興会 |
| リン酸三カルシウムを基材としたベクトル マテリアルの開発 | 河野 文昭 | 総合診療歯科学 | 1,100,000 | 補 委 | 日本学術振興会 |
| 温度応答性ポリマーによる口腔ケアに有 効な義歯安定剤の開発 | 友竹 偉則 | 口腔インプラントセ ンター | 600,000 | 補 委 | 日本学術振興会 |
| 歯髄炎の病態形成における象牙芽細胞 の細菌侵襲に対する免疫機構の解明 | 高橋 加奈子 | 口腔管理センター | 900,000 | 補 委 | 日本学術振興会 |
| 生殖補助医療により出生した児の長期予 後と技術の標準化に関する研究 | 苛原 稔 | 産科婦人科 | 39,600,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| DNAメチル化修飾に着目したうつ病の マーカー作成 —双極、単極、治療抵抗性うつ病の識別 を目指して— | 大森 哲郎 | 精神医学 | 15,402,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| 難治性平衡機能障害に関する調査研究 | 武田 憲昭 | 耳鼻咽喉科 | 14,800,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| 神経変性疾患領域における基盤的調査 研究 | 梶 龍児 | 臨床神経科学 | 600,000 | 補 委 | 国立保健医療科 学院 |
| 特定健診・保健指導におけるメタボリック シンドロームの診断・管理のエビデンス創 出に関する横断・縦断研究 | 島袋 充生 | 心臓血管病態医学 | 1,100,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| 小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患に おける包括的な診断・治療ガイドライン作 成に関する研究 | 島田 光生 | 消化器・移植外科 | 1,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| 希少性難治性疾患—神経・筋難病疾患 の進行抑制治療効果を得るための新た な医療機器、生体電位等で随意コント ロールされた下肢装着型補助ロボット (HAL-HN01)に関する医師主導治験の 実施研究 | 梶 龍児 | 臨床神経科学 | 800,000 | 補 委 | 国立保健医療科 学院 |
| C型肝炎の新規診断法や新規治療法を 開発するためのゲノムワイド関連解析の 手法を用いた宿主因子の解析に関する 研究 | 島田 光生 | 消化器・移植外科 | 999,360 | 補 委 | 厚生労働省 |
| エビデンスに基づいた神経免疫疾患の 早期診断基準・重症度分類・治療アルゴ リズムの確立 | 梶 龍児 | 臨床神経科学 | 450,000 | 補 委 | 国立保健医療科 学院 |
| BIM遺伝子多型に起因するEGFR変異肺 がんのEGFRチロシンキナーゼ阻害薬耐 性をポリノスタット併用で克服する研究 | 西岡 安彦 | 呼吸器・膠原病内 科学 | 1,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| 標準的治療の確立が望まれる難治性疾 患に対する新規治療法の開発 | 金山 博臣 | 泌尿器科 | 300,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| 高次脳機能障害者の社会参加支援の推 進に関する研究 | 永廣 信治 | 脳神経外科学 | 450,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| プリオン病のサーベイランスと感染予防 に関する調査研究 | 原田 雅史 | 放射線科学 | 2,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| 重症のインフルエンザによる肺炎・脳症 の診断・治療に関する研究・新規診断・ 治療に関する提案と検証 | 西村 匡司 | 救急集中治療医学 | 1,200,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| 糖尿病性腎症ならびに腎硬化症の診療 水準向上と重症化防止にむけた調査・研 究 | 安部 秀斉 | 腎臓内科学 | 1,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| びまん性肺疾患に関する調査研究 | 西岡 安彦 | 呼吸器・膠原病内 科学 | 500,000 | 補 委 | 国立保健医療科 学院 |

| | | | | | |
|--|-------|----------------|------------|--------|-------|
| 進行・再発膀胱癌に対する新規エピトープペプチドカクテル療法と標準化学療法の併用効果を検討する多施設共同第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験 | 島田 光生 | 消化器・移植外科 | 2,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| 生体内分解性素材を用いた国産治療デバイスの開発-経カテーテル的心房中隔欠損孔閉鎖デバイスの開発 | 黒部 裕嗣 | 心臓血管外科学 | 59,930,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| 筋萎縮側索硬化症(ALS)新規治療法開発をめざした病態解明 | 梶 龍児 | 臨床神経科学 | 1,300,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| がん細胞が生成する尿中タンパク質断片の検出を応用した肺腺癌早期診断システム樹立に関する研究 | 西岡 安彦 | 呼吸器・膠原病内科学 | 2,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| 性分化・性成熟領域38疾患の診療ガイドライン作成に向けた遺伝子診断法の確立 | 松崎 利也 | 産科婦人科学 | 1,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| 免疫性ニューロパチーの治療反応性予測に基づく有効な治療戦略の構築 | 梶 龍児 | 臨床神経科学 | 500,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| EHRと連携した医療情報分析システムの構築及び他地域データ活用した市販後案勢対策実証研究 | 松久 宗英 | 糖尿病臨床・研究開発センター | 37,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 |
| | | | | 補 委 | |

計 109

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 発表者の所属 | 題名 | 雑誌名 |
|----|---------------|--------|--|--|
| 1 | Shimabukuro M | 循環器内科 | Effects of the brown rice diet on visceral obesity and endothelial function: the BRAVO study. | Br J Nutr. 111(2): 310-320, 2014 |
| 2 | Soeki T | 循環器内科 | Pentraxin 3 is a local inflammatory marker in atrial fibrillation. | Heart Vessels. 29(5): 653-658, 2014 |
| 3 | Bando S | 循環器内科 | Congenital long QT syndrome with compound mutations in the KCNH2 gene. | Heart Vessels. 29(4): 554-559, 2014 |
| 4 | Kusunose K | 循環器内科 | Echocardiographic image tracker with a speckle adaptive noise reduction filter for the automatic measurement of the left atrial volume curve. | Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 15(5): 509-514, 2014 |
| 5 | Yamaguchi K | 循環器内科 | Effects of telmisartan on inflammatory cytokines and the coronary plaque component as assessed on integrated backscatter intravascular ultrasound in hypertensive patients. | Circ J. 78(1): 240-247, 2014 |
| 6 | Matsumoto S | 循環器内科 | Azilsartan, an angiotensin II type 1 receptor blocker, restores endothelial function by reducing vascular inflammation and by increasing the phosphorylation ratio Ser1177/Thr497 of endothelial nitric oxide synthase in diabetic mice. | Cardiovasc Diabetol. 13: 30, 2014 |
| 7 | Hayashi S | 循環器内科 | Augmentation index does not reflect the risk of coronary artery disease in elderly patients. | Circ J. 78(5): 1176-1182, 2014 |
| 8 | Yagi S | 循環器内科 | Association of lower limb muscle mass and energy expenditure with visceral fat mass in healthy men. | Diabetol Metab Syndr. 6(1): 27, 2014 |
| 9 | Yagi S | 循環器内科 | High serum parathyroid hormone and calcium are risk factors for hypertension in Japanese patients. | Endocr J. 61(7): 727-733, 2014 |
| 10 | Yamada H | 循環器内科 | Pre-load stress echocardiography for predicting the prognosis in mild heart failure. | JACC Cardiovasc Imaging. 7(7): 641-649, 2014 |
| 11 | Kusunose K | 循環器内科 | Left main coronary artery compression syndrome with an incomplete atrioventricular septal defect presenting as angina induced by hyperthyroidism. | Intern Med. 53(18): 2083-2085, 2014 |
| 12 | Takashima A | 循環器内科 | Cardiac rehabilitation reduces serum levels of oxidized low-density lipoprotein. | Circ J. 78(11): 2682-2687, 2014 |
| 13 | Saito K | 循環器内科 | Electrocardiographic and chronobiological features of paroxysmal AV block recorded by ambulatory electrocardiography. | J Med Invest. 61(3-4): 380-387, 2014 |

| | | | | |
|----|-----------|--------|---|--|
| 14 | Hara T | 循環器内科 | Utility of lower limb positive pressure test for diagnosis of diastolic heart failure: a case report. | J Med Invest. 61(3-4): 404-408, 2014 |
| 15 | Soeki T | 循環器内科 | Effect of ghrelin on autonomic activity in healthy volunteers. | Peptides. 62: 1-5, 2014 |
| 16 | Ishida M | 循環器内科 | MicroRNA-378 regulates adiponectin expression in adipose tissue: A new plausible mechanism. | PLoS One. 9(11): e111537, 2014 |
| 17 | Yagi S | 循環器内科 | Serum concentration of eicosapentaenoic acid is associated with cognitive function in patients with coronary artery disease. | Nutr J. 13(1): 112, 2014 |
| 18 | Tamai R | 循環器内科 | Massive tricuspid regurgitation due to pacemaker-lead puncture of the tricuspid valve: successful diagnosis by 3-dimensional echocardiography. | J Med Ultrasonics. 41(1): 69-71, 2014 |
| 19 | Ise T | 循環器内科 | Acute pulmonary thromboembolism from deep vein thrombosis induced by trauma to the popliteal vein with a tennis racket. | JC Cases. 9(4): 162-164, 2014 |
| 20 | Nishio S | 循環器内科 | Multimodality imaging of biatrial myxomas in an asymptomatic patient. | JC Cases. 10(3): 85-87, 2014 |
| 21 | Yagi S | 循環器内科 | Increase in serum triglyceride was associated with coronary plaque vulnerability in a patient with rheumatoid arthritis. | JC Cases. 10(2): 54-57, 2014 |
| 22 | Miki H | 生体情報内科 | Induction of endoplasmic reticulum stress by bortezomib sensitizes myeloma cells to DR5-mediated cell death. | International Journal of Myeloma. 5(1): 1-7, 2015 |
| 23 | Hayashi K | 生体情報内科 | Magnetically responsive smart nanoparticles for cancer treatment with a combination of magnetic hyperthermia and remote-control drug release. | Theranostics. 4(8):833-844, 2014 |
| 24 | Abe M | 生体情報内科 | Defining and targeting myeloma stem cell-like cells. | Stem Cells. 32(5):1067-73, 2014 |
| 25 | Yagi S | 生体情報内科 | Effect of combination tablets containing amlodipine 10 mg and irbesartan 100 mg on blood pressure and cardiovascular risk factors in patients with hypertension. | Ther Clin Risk Manag. 2015 Jan 12;11:83-8. |
| 26 | Ando K | 生体情報内科 | Anti-albuminuric effect of the aldosterone blocker eplerenone in non-diabetic hypertensive patients with albuminuria: a double-blind, randomised, placebo-controlled trial. | Lancet Diabetes Endocrinol. 2014 Dec;2(12):944-53. |
| 27 | Yagi S | 生体情報内科 | Effects of docosahexaenoic Acid on the endothelial function in patients with coronary artery disease. | J Atheroscler Thromb. 2015;22(5):447-54. |
| 28 | Yoshida S | 生体情報内科 | Adiponectin attenuates abdominal aortic aneurysm formation in hyperlipidemic mice. | Atherosclerosis. 2014 Aug;235(2):339-46. |
| 29 | K Hirose | 生体情報内科 | Usefulness of artificial endocrine pancreas during resection of insulinoma. | The Journal of Medical Investigation 61(3,4)421-425 2014 |

| | | | | |
|----|-------------|----------|---|--|
| 30 | Sato S | 呼吸器膠原病内科 | Idiopathic Pleuroparenchymal Fibroelastosis is Characterized by an Elevated Serum Level of Surfactant Protein-D, but Not Krebs Von Den Lungen-6. | Lung.192(5):711-717,2014 |
| 31 | Aono Y | 呼吸器膠原病内科 | Role of PDGF/PDGFR axis in the trafficking of circulating fibrocytes in pulmonary fibrosis. | Am J Respir Cell Mol Biol.51(6):793-801,2014 |
| 32 | Nishioka Y | 呼吸器膠原病内科 | Physician scientists in respiratory medicine. | Respir Investig. 52(5): 279,2014 |
| 33 | Hanibuchi M | 呼吸器膠原病内科 | The molecular biology of lung cancer brain metastasis: an overview of current comprehensions and future perspectives. (Review) | J Med Invest. 61(3,4):241-253,2014 |
| 34 | Ogawa H | 呼吸器膠原病内科 | Surfactant Protein D Attenuates sub-epithelial fibrosis in allergic airways disease through TGF-beta | Respiratory Research.15(1):143, 2014 |
| 35 | Tezuka T | 呼吸器膠原病内科 | IMD-4690, a Novel Specific Inhibitor for Plasminogen Activator Inhibitor-1, Reduces Allergic Airway Remodeling in a Mouse Model of Chronic Asthma via Regulating Angiogenesis and Remodeling-Related Mediators. | PLoS One. 10(3),2015 |
| 36 | Sato S | 呼吸器膠原病内科 | A case of IgG4-related interstitial lung disease showing usual interstitial pneumonia pattern: Unusual case for histological features with pathological proof. | Case Reports in Clinical Pathology 2(1):6-11, 2015 |
| 37 | Kawano H | 呼吸器膠原病内科 | A case of atypical Takayasu arteritis initially presenting with peripheral artery disease. | Case Reports in Clinical Pathology 2(2): 34-40, 2015 |
| 38 | Sogabe M | 消化器内科 | Visceral fat predominance is associated with non-alcoholic fatty liver disease in Japanese women with metabolic syndrome. | Hepatology Research, 2014; 44(5):515-522 |
| 39 | Miyamoto Y | 消化器内科 | A pedunculated submucosal lesion in the stomach with inverted downgrowth. | Internal Medicine, 2014; 53(15): 1625-1628 |
| 40 | Inoue A | 消化器内科 | B-RAF mutation and accumulated gene methylation in aberrant crypt foci (ACF), sessile serrated adenoma/polyp (SSA/P) and cancer in SSA/P. | British Journal of Cancer, 2015; 112(2):403-412 |
| 41 | Sogabe M | 消化器内科 | Light alcohol consumption plays a protective role against non-alcoholic fatty liver disease in Japanese men with metabolic syndrome. | Liver Int, 2014; 35(6): 1707-1714 |
| 42 | Sogabe M | 消化器内科 | Subtypes of metabolic syndrome and of other risk factors in Japanese women with erosive esophagitis. | Medicine, 2014; 93(28):e276 |
| 43 | Mitsui Y | 消化器内科 | Gastric inflammatory fibroid polyp morphologically changed by Helicobacter pylori eradication. | Clin J Gastroenterol, 2015; 8(2): 77-81 |
| 44 | Kitamura S | 消化器内科 | Epidermoid metaplasia of the esophagus with an unusual appearance on magnification. | Endoscopy, 2015; 47(S1): E100-E101 |

| | | | | |
|----|-------------|-------|---|--|
| 45 | Matsumoto S | 消化器内科 | Huge splenic epidermoid cyst with elevation of serum CA19-9 level. | The Journal of Medical Investigation, 2015; 62(1-2): 89-92 |
| 46 | Muguruma N | 消化器内科 | Endoscopic Management of Nonvariceal Upper Gastrointestinal Bleeding: State of the Art. | Clin Endosc, 2015; 48(2): 96-101 |
| 47 | Fujino Y | 消化器内科 | Cotton wool-like plaques due to Candida in ulcerative colitis. | Endoscopy, 2015; 47(S1): E61 |
| 48 | Fujino Y | 消化器内科 | Perineurioma in the sigmoid colon diagnosed and treated by endoscopic resection. | Clinical Journal of Gastroenterology, 2014; 7: 392-396 |
| 49 | Miyashiro A | 神経内科 | Are multifocal motor neuropathy patients underdiagnosed? An epidemiological survey in Japan. | Muscle Nerve 2014; 49(3): 357-61. |
| 50 | Mukai Y | 神経内科 | Comparison between botulinum neurotoxin type A2 and type A1 by electrophysiological study in healthy individuals. | Toxicon. 2014 Apr;81:32-6. |
| 51 | Matsui N | 神経内科 | Increased number of Hassall's corpuscles in myasthenia gravis patients with thymic hyperplasia. | J Neuroimmunol. 2014 Apr 15;269(1-2):56-61. |
| 52 | Sako W | 神経内科 | MRI can detect nigral volume loss in patients with Parkinson's disease: evidence from a meta-analysis. | J Parkinsons Dis. 2014;4(3):405-11 |
| 53 | Nodera H | 神経内科 | Thinning of cervical nerve roots and peripheral nerves in ALS as measured by sonography. | Clin Neurophysiol. 2014 Sep;125(9):1906-11 |
| 54 | Yamamoto N | 神経内科 | Reversibility of ischemic findings on 3-tesla magnetic resonance T2(*)-weighted image after recanalization. | J Med Invest. 2014;61(1-2):190-6. |
| 55 | Sako W | 神経内科 | The difference in putamen volume between MSA and PD: evidence from a meta-analysis. | Parkinsonism Relat Disord. 2014 Aug;20(8):873-7. |
| 56 | Koizumi H | 神経内科 | Spinal Central Effects of Peripherally Applied Botulinum Neurotoxin A in Comparison between Its Subtypes A1 and A2. | Front Neurol. 2014 Jun 23;5:98 |
| 57 | Yamamoto N | 神経内科 | Predictors of neurologic deterioration in patients with small-vessel occlusion and infarcts in the territory of perforating arteries. | J Stroke Cerebrovasc Dis. 2014 Sep;23(8):2151-5. |
| 58 | Furukawa T | 神経内科 | Increased proinflammatory cytokines in sera of patients with multifocal motor neuropathy. | J Neurol Sci. 2014 Nov 15;346(1-2):75-9. |
| 59 | Sako W | 神経内科 | Reduced alpha-synuclein in cerebrospinal fluid in synucleinopathies: evidence from a meta-analysis. | Mov Disord. 2014 Nov;29(13):1599-605. |
| 60 | Shimatani Y | 神経内科 | Abnormal gating of axonal slow potassium current in cramp-fasciculation syndrome. | Clin Neurophysiol. 2015 Jun;126(6):1246-54 |

| | | | | |
|----|-------------|------|---|---|
| 61 | Mori A | 神経内科 | Focal nerve enlargement is not the cause for increased distal motor latency in ALS: Sonographic evaluation. | Clin Neurophysiol. 2015 Aug;126(8):1632-7. |
| 62 | Yamamoto N | 神経内科 | Two-layered susceptibility vessel sign on 3-tesla T2*-weighted imaging is a predictive biomarker of stroke subtype. | Stroke. 2015 Jan;46(1):269-71. |
| 63 | Yamamoto N | 神経内科 | Is the Susceptibility Vessel Sign on 3-Tesla Magnetic Resonance T2*-Weighted Imaging a Useful Tool to Predict Recanalization in Intravenous Tissue Plasminogen Activator? | Clin Neuroradiol. 2014 Dec 18. |
| 64 | Sako W | 神経内科 | Val66Met polymorphism of brain-derived neurotrophic factor is associated with idiopathic dystonia. | J Clin Neurosci. 2015 Mar;22(3):575-7 |
| 65 | Osaki Y | 神経内科 | Effects of anesthetic agents on in vivo axonal HCN current in normal mice. | Clin Neurophysiol. 2015 Jan 19 |
| 66 | Kaji R. | 神経内科 | Asian neurology and stroke. | Neurology. 2015 Mar 10;84(10):1051-2. |
| 67 | Shimatani Y | 神経内科 | Upregulation of axonal HCN current by methylglyoxal: Potential association with diabetic polyneuropathy. | Clin Neurophysiol. 2015 Mar 14 |
| 68 | Tamaki M | 腎臓内科 | Chronic kidney disease reduces muscle mitochondria and exercise endurance and its exacerbation by dietary protein through inactivation of pyruvate dehydrogenase. | Kidney Int. 85(6), 1330-1339, 2014-06 |
| 69 | Nishi A | 精神科 | Meta-analyses of blood homocysteine levels for gender and genetic association studies of the MTHFR C677T polymorphism in schizophrenia. | Schizophr Bull. 40(5):1154-63,2014 |
| 70 | Watanabe S | 精神科 | Microarray analysis of global gene expression in leukocytes following lithium treatment. | Hum Psychopharmacol. 29(2):190-198,2014 |
| 71 | Morigaki Y | 精神科 | Psychiatric symptoms in a patient with isolated adrenocorticotropin deficiency: case report and literature review. | Gen Hosp Psychiatry. 36(4):449.e3-5,2014 |
| 72 | Yoshino Y | 精神科 | Missense variants of the alanine:glyoxylate aminotransferase 2 gene are not associated with Japanese schizophrenia patients. | Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. 4;53:137-41,2014 |
| 73 | Aono M | 精神科 | Neuropsychological and psychiatric assessments following bilateral deep brain stimulation of the subthalamic nucleus in Japanese patients with Parkinson's disease. | J Clin Neurosci. 21(9):1595-1598,2014 |
| 74 | Umehara H | 精神科 | Successful Treatment of Anorexia Nervosa in a 10-year-old Boy with Risperidone Long-acting Injection. | Clin Psychopharmacol Neurosci. 12(1):65-66,2014 |
| 75 | Kinoshita M | 精神科 | Aberrant DNA methylation of blood in schizophrenia by adjusting for estimated cellular proportions. | Neuromolecular Med. 16(4):697-703,2014 |

| | | | | |
|----|-----------------|-------|--|---|
| 76 | Numata S | 精神科 | DNA methylation changes in the postmortem dorsolateral prefrontal cortex of patients with schizophrenia. | Front Genet. 26;5:280,2014 |
| 77 | Yamamori H | 精神科 | Changes in plasma D-serine, L-serine, and glycine levels in treatment-resistant schizophrenia before and after clozapine treatment. | Neurosci Lett. 17;582:93-8,2014 |
| 78 | Hosokawa M | 精神科 | Association of autism tendency and hemodynamic changes in the prefrontal cortex during facial expression stimuli measured by multi-channel near-infrared spectroscopy. | Psychiatry Clin Neurosci. 69(3):145-52,2015 |
| 79 | Numata S | 精神科 | Blood Diagnostic Biomarkers for Major Depressive Disorder using Multiplex DNA Methylation Profiles: Discovery and Validation. | Epigenetics. 10(2):135-41,2015 |
| 80 | Watanabe Y | 精神科 | Prefrontal activation during two Japanese Stroop tasks revealed with multi-channel near-infrared spectroscopy. | J Med Invest. 62(1-2):51-5,2015 |
| 81 | Kataoka M | 精神科 | Gender differences of the influential factors on the mental health condition of teachers in the A university. | J Med Invest. 62(1-2):56-61,2015 |
| 82 | Hayabuchi Y | 小児科 | Assessment of two-component ventricular septum: functional differences in systolic deformation and rotation assessed by speckle tracking imaging. | Echocardiography. 31(7):815-24,2014 |
| 83 | Hayabuchi Y | 小児科 | Fibromyxoid excrescence of the aortic valve that manifested after catheterisation and required resection. | Cardiol Young. 25(2):362-4,2015 |
| 84 | Inoue N | 小児科 | Atypical teratoid rhabdoid tumor in the cavernous sinus of a toddler presenting with oculomotor nerve palsy. | Childs Nerv Syst. 30(8):1463-6,2014 |
| 85 | Toda Y | 小児科 | High-frequency EEG activity in epileptic encephalopathy with suppression-burst. | Brain Dev. 2015 Feb;37(2):230-6. |
| 86 | Hayabuchi Y | 小児科 | Assessment of the helical ventricular myocardial band using standard echocardiography. | Echocardiography. 32(2):310-8,2015 |
| 87 | Ito H | 小児科 | Case of early childhood-onset narcolepsy with cataplexy: comparison with a monozygotic co-twin. | Pediatr Int. 56(5):789-93,2014 |
| 88 | Utsunomiya T | 消化器外科 | Specific miRNA expression profiles of non-tumor liver tissue predict a risk for recurrence of hepatocellular carcinoma. | Hepatology Research 2014;44(6):631-638 |
| 89 | Imura S | 消化器外科 | Current status of laparoscopic liver surgery in Japan :results of a multicenter Japanese experience. | Surg Today 2014;44(7):1214-1219 |
| 90 | Lkhagva-Ochir T | 消化器外科 | The role of Aurp B expression in non-tumor liver tissues of patients with hepatocellular carcinoma. | Int J Clin Oncol 2014;19(4):622-628 |

| | | | | |
|-----|--------------|-------|---|---|
| 91 | Yoshikawa K | 消化器外科 | Characteristics of internal hernia after gastrectomy with Roux-en-Y reconstruction for gastric cancer. | Surgical Endoscopy 2014;28(6):1774-1778 |
| 92 | Nii A | 消化器外科 | Hydrolyzed whey peptide-based diet ameliorates hepatic ischemia-reperfusion injury in the rat nonalcoholic fatty liver. | Surg Today 2014;44(12):2354-5360 |
| 93 | Asanoma M | 消化器外科 | Cytokine expression in spleen affects progression of liver cirrhosis through liver-spleen cross-talk. | Hepatology Research 2014;44(12):1217-1223 |
| 94 | Kashihara H | 消化器外科 | Comparisons of Inflammatory Cytokines Expressions in Drain after Laparoscopic Versus Open Surgery. | Hepato-Gastroenterology 2014;61(130):379-381 |
| 95 | Ishikawa D | 消化器外科 | Effect of Twist and Bmi1 on intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas. | J Gastroenterol Hepatol 2014;29(12):2032-2037 |
| 96 | Sugimoto K | 消化器外科 | Valproic Acid Enhances the Anti-tumor Effect of Pegylated Interferon-alpha Towards Pancreatic Cancer Cell Lines. | Anticancer Research 2014;34(7):3403-3410 |
| 97 | Zhu C | 消化器外科 | Hypomethylation of Long Interspersed Nuclear Element-1(LINE-1) is Associated with Poor Prognosis via Activation of c-MET in Hepatocellular Carcinoma. | Ann Surg Oncol 2014;21(4):729-735 |
| 98 | Utsunomiya T | 消化器外科 | A Comparison of the Surgical Outcomes Among Patients With HBV-positive, HCV-positive, and Non-B Non-C Hepatocellular Carcinoma. | Annals of Surgery 2015;261(3):513-520 |
| 99 | Batsaikhan B | 消化器外科 | Expression of Stathmin1 in Gastric Adenocarcinoma. | Anticancer Research 2014;34(8):4217-4222 |
| 100 | Yoshikawa K | 消化器外科 | Hybrid technique for laparoscopic incisional ventral hernia repair combining laparoscopic primary closure and mesh repair. | Asian J Endosc Surg 2014;7(3):282-285 |
| 101 | Saito Y | 消化器外科 | Homing effect of adipose-derived stem cells to the injured liver: the shift of stromal cell-derived factor 2 expressions. | J Hepatobiliary Pancreat Sci 2014;21(12):873-880 |
| 102 | Matsumoto N | 消化器外科 | Effect of Light Irradiation by Light Emitting Diode on Colon Cancer Cells. | Anticancer Research 2014;34(9):4709-4716 |
| 103 | Wubetu GY | 消化器外科 | Branched Chain Amino Acid Suppressed Insulin-initiated Proliferation of Human Cancer Cells Through Induction of Autophagy. | Anticancer Research 2014;34(9):4789-4796 |
| 104 | Iwahashi S | 消化器外科 | Effects of Valproic Acid in Combination with S-1 on Advanced Pancreatobiliary Tract Cancers: Clinical Study Phases/ II. | Anticancer Research 2014;34(9):5187-5192 |

| | | | | |
|-----|--------------------|-----------|--|--|
| 105 | Kashihara H | 消化器外科 | CD133 Expression is Correlated with Poor Prognosis in Colorectal Cancer. | Hepato-Gastroenterology 2014;61(134):1563-1567 |
| 106 | Kanamoto M | 消化器外科 | Effective uses of a vessel-sealing system for laparoscopic unroofing of liver cysts. | Asian J Endosc Surg 2015;8(1):91-94 |
| 107 | Shimada M | 消化器外科 | Highlights of topic "Intrahepatic cholangiocarcinoma: recent advancements in pathogenesis, diagnosis and treatment". | J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2015;22(2):91-93 |
| 108 | Asanoma M | 消化器外科 | Clinical role of Foxp3+regulatory T cell in living donor related liver transplantation for prediction of life-threatening complications. | J Med Invest. 2015;62(1-2):37-40 |
| 109 | Kashihara H | 消化器外科 | Duodenal-Jejunal Bypass Improves Insulin Resistance by Enhanced Glucagon-Like Peptide-1 Secretion Through Increase of Bile Acids. | Hepato-Gastroenterology 2014;61(132):1049-1054 |
| 110 | Yada K | 消化器外科 | The Role Of Surgical Treatment In The Multidisciplinary Therapy For Hepatoblastoma. | Hepato-Gastroenterology 2014;61(131):553-556 |
| 111 | Kuyama H | 消化器外科 | Carcinogenic Potential of Biliary Epithelium of Congenital Choledochal Cyst Model in Rats:A Special Reference to HDAC Expression. | Hepato-Gastroenterology 2014;61(131):795-801 |
| 112 | Saito Y | 消化器外科 | Usefulness of 3D-virtual hepatectomy and intraoperative navigation system in liver resection. | Int J CARS 2014;9:123-138 |
| 113 | Narmisheekh Khasag | 胸部内分泌腫瘍外科 | Monitoring of exhaled carbon monoxide and carbon dioxide during lung cancer operation. | European Journal of Cardio-Thoracic Surgery 45(3) : 531-536, 2014 |
| 114 | Hiromitsu Takizawa | 胸部内分泌腫瘍外科 | Demonstration of the skip metastasis pathway for N2 non-small cell lung cancer. | The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 147 : 50-52, 2014 |
| 115 | Mohamed Mokhtar | 胸部内分泌腫瘍外科 | Non-invasive monitoring of anticancer effects of cisplatin on lung cancer in an orthotopic SCID mouse model using [18F] FDG PET-CT. | Oncol Rep 31(5) : 2007-2014, 2014 |
| 116 | Hirokazu Takechi | 胸部内分泌腫瘍外科 | Glutamine protects the small intestinal mucosa in anticancer drug-induced rat enteritis model. | The Journal of Medical Investigation 61(1,2) : 59-64, 2014 |
| 117 | Mohamed Mokhtar | 胸部内分泌腫瘍外科 | Triple assessment of sentinel lymph node metastasis in early breast cancer using preoperative CTLG, intraoperative fluorescence navigation and OSNA. | Breast Cancer, 2014 |

| | | | | |
|-----|---------------------------|-----------|--|---|
| 118 | Abdellah Hamed Khalil Ali | 胸部内分泌腫瘍外科 | Holter ECG monitoring of sympathovagal fluctuation during bronchoscopy. | The Clinical Respiratory Journal : Article first published online, 2014 |
| 119 | HISASHI MATSUOKA | 胸部内分泌腫瘍外科 | Comprehensive evaluation of the response of genes to the administration of the antitumor drug S-1 using a low density array. | International Journal of Oncology 2014 |
| 120 | Takahiro Yoshida | 胸部内分泌腫瘍外科 | Long-term survival for advanced esophageal cancer patients with an esophago-bronchial fistula can be achieved by timely multimodality therapy. | Esophagus 12(3) : 277-285, 2014 |
| 121 | Katoh S | 整形外科 | High incidence of acute traumatic spinal cord injury in a rural population in Japan in 2011 and 2012: an epidemiological study. | Spinal Cord,52(4);264-267,2014 |
| 122 | Goda Y | 整形外科 | Analysis of MRI signal changes in the adjacent pedicle of adolescent patients with fresh lumbar spondylolysis. | Eur Spine J,23(9);1892-1895,2014 |
| 123 | Sakai T | 整形外科 | Diffusion-weighted imaging and diffusion tensor imaging of asymptomatic lumbar disc herniation. | J Med Invest,61(1-2);197-203, 2014 |
| 124 | Mineta K | 整形外科 | Recurrence of type I Modic inflammatory changes in the lumbar spine: effectiveness of intradiscal therapy. | Skeletal Radiol,43(11);1645-1649,2014 |
| 125 | Takata Y | 整形外科 | Intradural extramedullary capillary hemangioma in the upper thoracic spine: a review of the literature. | Case Rep Orthop. [Epub 2014 Jun 18.] |
| 126 | Takata Y | 整形外科 | Minimally Invasive Microendoscopic Resection of the Transverse Process for Treatment of Low Back Pain with Bertolotti's Syndrome. | Case Rep Orthop. [Epub 2014 Jun 19.] |
| 127 | Enishi T | 整形外科 | Hypertrophic chondrocytes in the rabbit growth plate can proliferate and differentiate into osteogenic cells when capillary invasion is interposed by a membrane filter. | PLoS One,9(8);e104638,2014 |
| 128 | Tonogai I | 整形外科 | Bilateral atypical femoral fractures in a patient with multiple myeloma treated with intravenous bisphosphonate therapy. | Case Rep Orthop. [Epub 2014 Jul 22.] |
| 129 | Goto T | 整形外科 | The state of the art in arthroscopic hip surgery. | J Med Invest,61(3,4);226-232,2014 |
| 130 | Matsuura T | 整形外科 | State of the art: elbow arthroscopy: review of the literature and application for osteochondritis dissecans of the capitellum. | J Med Invest,61(3,4);233-240,2014 |
| 131 | Saiyo K | 整形外科 | Surgery Related Complications in Percutaneous Endoscopic Lumbar Discectomy under Local Anesthesia. | J Med Invest,61(3,4);264-269,2014 |
| 132 | Suzue N | 整形外科 | Prevalence of childhood and adolescent soccer-related overuse injuries. | J Med Invest,61(3,4);369-373,2014 |

| | | | | |
|-----|-----------|-------|---|---|
| 133 | Takata Y | 整形外科 | Hybrid technique of cortical bone trajectory and pedicle screwing for minimally invasive spine reconstruction surgery: A technical note. | J Med Invest,61(3,4);388-392,2014 |
| 134 | Goto T | 整形外科 | Medial patellofemoral ligament reconstruction for patellar dislocation due to rupture of the medial structures after total knee arthroplasty: a case report and review of the literature. | J Med Invest,61(3,4);409-412,2014 |
| 135 | Suzue N | 整形外科 | Plantar fascia rupture in a professional soccer player. | J Med Invest,61(3,4);413-416,2014 |
| 136 | Tonogai I | 整形外科 | Spontaneous rupture and hemorrhage of myxopapillary ependymoma of the filum terminale: a case report and literature review. | J Med Invest,61(3,4);430-435,2014 |
| 137 | Mineta K | 整形外科 | Efficacy of hip arthroscopy in the diagnosis and treatment of synovial osteochondromatosis: a case report and literature review. | J Med Invest,61(3,4);436-441,2014 |
| 138 | Miyagi R | 整形外科 | Persistent tight hamstrings following conservative treatment for apophyseal ring fracture in adolescent athletes: critical appraisal. | J Med Invest,61(3,4);446-451,2014 |
| 139 | Tonogai I | 整形外科 | Retrograde intramedullary nailing with a blocking pin technique for reduction of periprosthetic supracondylar femoral fracture after total knee arthroplasty: technical note with a compatibility chart of the nail to femoral component. | Case Rep Orthop, Epub 2014 Dec 11. |
| 140 | Enishi T | 整形外科 | Cartilage degeneration at symptomatic persistent olecranon physis in adolescent baseball players. | Adv Orthop, Epub 2014 Dec 18. |
| 141 | Mineta K | 整形外科 | Late-onset Non-dysraphic Intradural Spinal Cord Lipoma: A Case Report and Literature Review. | Ann Orthop Rheumatol,2(1);1008,2014 |
| 142 | Takata Y | 整形外科 | Clinical Outcome of Minimally Invasive Repair of Pars Defect Using Percutaneous Pedicle Screws and Hook-Rod System in Adults with Lumbar Spondylolysis. | Ann Orthop Rheumatol,2(2);1013,2014 |
| 143 | Tada Y | 脳神経外科 | Roles of hypertension in the rupture of intracranial aneurysms. | Stroke, 45: 579-586, 2014 |
| 144 | Kageji T | 脳神経外科 | Correlation between radiation dose and histopathological findings in patients with glioblastoma treated with boron neutron capture therapy (BNCT). | Applied Radiation and Isotopes, 88: 20-22, 2014 |
| 145 | Tada Y | 脳神経外科 | Estrogen protects against intracranial aneurysm rupture in ovariectomized mice. | Hypertension, 63: 1339-1344, 2014 |

| | | | | |
|-----|------------------|--------|--|--|
| 146 | Tada Y | 脳神経外科 | Roles of estrogen in the formation of intracranial aneurysms in ovariectomized female mice. | Neurosurgery, 75: 690-695, 2014 |
| 147 | Kageji T | 脳神経外科 | Boron neutron capture therapy (BNCT) for newly-diagnosed glioblastoma: Comparison of clinical results obtained with BNCT and conventional treatment. | The Journal of Medical Investigation, 61: 254-263, 2014 |
| 148 | Tada Y | 脳神経外科 | Intra-arterial signal on arterialsplan labeling perfusion MRI to identify the presence of acute middle cerebral occlusion. | Cerebrovascular Disease, 9: 191-196, 2014 |
| 149 | Mure H | 脳神経外科 | Deep brain stimulation of the thalamic ventral lateral anterior nucleus for DYT6 dystonia. | Stereotactic Functional Neurosurgery, 92: 393-396, 2014 |
| 150 | Nagahiro S | 脳神経外科 | Current topics in sports-related head injuries. | Neurol Med Chir, 54: 878-886, 2014 |
| 151 | Tada Y | 脳神経外科 | Post-ischemic hyperperfusion after clipping of a ruptured internal carotid-posterior communicating artery aneurysm under suction decompression. | Interdisciplinary, Neurosurgery: Advanced Techniques and Case Management, 1: 62-65, 2014 |
| 152 | Morigaki R | 脳神経外科 | Deep brain stimulation for essential tremor, Deep Brain Stimulation for Neurological Disorders. | Toru Itakura, Springer, 2014, pp135-155 |
| 153 | Kurobe H | 心臓血管外科 | Evaluation of remodeling process in small-diameter cell-free tissue-engineered arterial graft. | J Vasc Surg. 2014 Apr 15. [Epub ahead of print] |
| 154 | Kurobe H | 心臓血管外科 | Comparison of a Closed System to a Standard Open Technique for Preparing Tissue-Engineered Vascular Grafts. | Tissue Eng Part C Methods. 2015 Jan;21(1):88-93 |
| 155 | Takashi Kitaichi | 心臓血管外科 | [Reconstruction of pulmonary blood flow in the Norwood procedure; Blalock-Taussig shunt; from bench to surgery]. | Kyobu Geka. 2014 Apr;67(4):274-7. |
| 156 | Kurobe H | 心臓血管外科 | Comparison of the biological equivalence of two methods for isolating bone marrow mononuclear cells for fabricating tissue-engineered vascular grafts. | Tissue Eng Part C Methods. 2015 Jun;21(6):597-604 |
| 157 | Kurobe H | 心臓血管外科 | Well-organized neointima of large-pore poly(l-lactic acid) vascular graft coated with poly(l-lactic-co-epsilon-caprolactone) prevents calcific deposition compared to small-pore electrospun poly(l-lactic acid) graft in a mouse aortic implantation model. | Atherosclerosis. 2014 Oct 17;237(2):684-691 |
| 158 | Murao K | 皮膚科 | Human papillomavirus infection in Bowen disease: negative p53 expression, not p16(INK4a) overexpression, is correlated with human papillomavirus-associated Bowen disease. | J. Dermatol, 41-10, 878-884, 2014 |

| | | | | |
|-----|-------------|------|--|--|
| 159 | Matsudate Y | 皮膚科 | Primary cutaneous mucormycosis caused by <i>Mucor irregularis</i> in an immunocompetent patient. | J. Dermatol, 42-3, 267-268, 2015 |
| 160 | Yamaguchi K | 泌尿器科 | Changes in levels of prostate-specific antigen and testosterone following discontinuation of long-term hormone therapy for non-metastatic prostate cancer. | J Med Invest. 2014;61(1-2):35-40. |
| 161 | Takahashi M | 泌尿器科 | Long-Term Administration of Docetaxel Over 70 Cycles for Castration-Resistant Prostate Cancer. | Clin Genitourin Cancer. 2015 Aug;13(4):e337-40. doi: 10.1016/j.clgc.2015.01.012. Epub 2015 Jan 30. |
| 162 | Komori M | 泌尿器科 | Complications of Flexible Ureteroscopic Treatment for Renal and Ureteral Calculi during the Learning Curve. | Urol Int. 2015;95(1):26-32. doi: 10.1159/000368617. Epub 2015 Mar 27. |
| 163 | Arakaki R | 眼科 | Effects of rebamipide eyedrop administration on ocular lesions in a murine model of primary sjögren's syndrome. | PLoS ONE 9:e98390,2014. |
| 164 | Hayashi Y | 眼科 | Polymicrobial sclerokeratitis caused by <i>Scedosporium apiospermum</i> and <i>Aspergillus cibarius</i> . | Cornea 33:875-877,2014 |
| 165 | Niki M | 眼科 | Ineffectiveness of intrastromal voriconazole for filamentous fungal keratitis. | Clin Ophthalmol 8:1075-1079,2014 |
| 166 | Semba K | 眼科 | Renin-angiotensin system regulates neurodegeneration in a mouse model of normal tension glaucoma. | Cell Death Dis 2014 Jul 17;5:e1333. |
| 167 | Semba K | 眼科 | Brimonidine prevents neurodegeneration in a mouse model of normal tension glaucoma. | Cell Death Dis 2014 Jul 17;5:e1341. |
| 168 | Hayashi Y | 眼科 | Swept-source optical coherence tomographic findings of choroidal osteoma. | Case Rep Ophthalmol 5:195-202,2014 |
| 169 | Semba K | 眼科 | Dock3 overexpression and p38 MAPK inhibition synergistically stimulate neuroprotection and axon regeneration after optic nerve injury. | Neurosci Lett 581:89-93,2014. |
| 170 | Akaiwa K | 眼科 | Prepapillary vascular loops complicated by suspected macroaneurysm rupture. | Case Rep Ophthalmol Med 2014:157242,2014 |
| 171 | Hotta F | 眼科 | Achromobacter buckle infection diagnosed by a 16S rDNA clone library analysis: a case report. | BMC Ophthalmol 14:142,2014 |
| 172 | Eguchi H | 眼科 | Severe fungal sclerokeratitis caused by <i>Metarhizium anisopliae</i> : A case report and literature review. | Mycoses 58:88-92,2015 |

| | | | | |
|-----|------------|-------|---|---|
| 173 | Mino A | 眼科 | Case of adult-onset Coats' disease with epiretinal membrane treated with 25-gauge pars plana vitrectomy. | J Med Invest 62:85-88,2015 |
| 174 | Iwata A | 眼科 | Binarization of enhanced depth imaging optical coherence tomographic images of an eye with Wyburn-Mason syndrome: a case report. | BMC Ophthalmol 15:19,2015 |
| 175 | Sato G | 耳鼻咽喉科 | Long-term prognosis of hearing loss in patients with unilateral Ménière's disease. | Acta Otolaryngol. 134(10): 1005-1010, 2014 |
| 176 | Takeuchi M | 放射線科 | MR manifestations of uterine polypoid adenomyoma. | Abdom Imaging. Vol.40 ,No 3 p480-487 ,2015 |
| 177 | Takeuchi M | 放射線科 | Susceptibility-weighted MRI of extra-ovarian endometriosis: preliminary results. | Abdom Imaging. [Epub ahead of print] ,2015 |
| 178 | Takeuchi M | 放射線科 | Susceptibility-weighted Imaging of Ovarian Torsion: A Case Report. | Magn Reson Med Sci. [Epub ahead of print], 2015 |
| 179 | Abe T | 放射線科 | Diagnosis of brain tumors using dynamic contrast-enhanced perfusion imaging with a short acquisition time. | Springerplus Vol4 , 88 ,2015 |
| 180 | Iwasa T | 産婦人科 | Changes in the responsiveness of hypothalamic prokineticin 2 mRNA expression to food deprivation in developing female rats. | Int J Dev Neurosci. 2014 May;34:76-78. |
| 181 | Iwasa T | 産婦人科 | Pre-pubertal serum leptin levels and sensitivity to central leptin injection of prenatally undernourished female rats. | Int J Dev Neurosci. 2014 Jun;35:52-4. |
| 182 | Iwasa T | 産婦人科 | Prenatal exposure to glucocorticoids affects body weight, serum leptin levels, and hypothalamic neuropeptide-Y expression in pre-pubertal female rat offspring. Int J Dev Neurosci. | Int J Dev Neurosci. 2014 Aug;36:1-4. |
| 183 | Iwasa T | 産婦人科 | Changes in leptin production/secretion induced in response to septic doses of lipopolysaccharides in gonadally intact and ovariectomized female rats. | J Reprod Immunol. 2014 Oct;104-105:92-5. |
| 184 | Iwasa T | 産婦人科 | Site-specific changes in cytokine response to septic dose of lipopolysaccharide in ovariectomized female rats. | J Endocrinol Invest. 2014 Aug;37(8):721-7. |
| 185 | Iwasa T | 産婦人科 | Hypothalamic Kiss1 and RFRP gene expressions are changed by a high dose of lipopolysaccharide in female rats. | Horm Behav. 2014 Jul;66(2):309-16. |
| 186 | Iwasa T | 産婦人科 | The effects of LPS-induced endotoxemia on the expression of adiponectin and its receptors in female rats. | Endocr J. 2014;61(9):891-900. |
| 187 | Iwasa T | 産婦人科 | Changes in the responsiveness of hypothalamic PK2 and PKR1 gene expression to fasting in developing male rats. | Int J Dev Neurosci. 2014 Nov;38:87-90. |

| | | | | |
|-----|-------------------|------|---|---|
| 188 | Iwasa T | 産婦人科 | Effects of ovariectomy on the inflammatory responses of female rats to the central injection of lipopolysaccharide. | J Neuroimmunol. 2014 Dec 15;277(1-2):50-6. |
| 189 | Iwasa T | 産婦人科 | Developmental changes in hypothalamic toll-like-receptor 4 mRNA expression and the effects of lipopolysaccharide on such changes in female rats. | Int J Dev Neurosci. 2015 Feb;40:12-4. |
| 190 | Toshiya Matsuzaki | 産婦人科 | Insulin Resistance and Metformin Treatment in Women with Polycystic Ovary Syndrome. | J.Mamm. Ova Res. Vol.31(1),17-22,2014 |
| 191 | Horikawa YT | 麻酔科 | Signaling epicenters: The role of caveolae and caveolins in volatile anesthetic induced cardiac protection. | Current Pharmaceutical Design 20(36):5681-9, 2014 |
| 192 | Yasuo M | 麻酔科 | Geranylgeranylacetone protects the heart via caveolae and caveolin-3. | Life Sciences 101(1,2):43-48,2014 |
| 193 | Yasuo Tsutsumi | 麻酔科 | Geranylgeranylacetone and volatile anesthetic-induced cardiac protection synergism is dependent on caveolae and caveolin-3. | Journal of Anesthesia .28(5):733--739, 2014 |
| 194 | Noriko Kambe | 麻酔科 | The influence of glucose load on metabolism during minor surgery using remifentanyl-induced anesthesia. | Acta Anaesthesiologica Scandinavica 58(8):948-954,2014 |
| 195 | Kawanishi R | 麻酔科 | Perineural but not systemic low-dose dexamethasone prolongs the duration of interscalene block with ropivacaine: a prospective randomized trial. | Local and Regional Anesthesia 7:5-9,2014 |
| 196 | Tsutsumi YM | 麻酔科 | The effects of intravenous fosaprepitant and ondansetron for the prevention of postoperative nausea and vomiting in neurosurgery patients: a prospective, randomized, double-blinded study. | BioMed Research International 2014:307025 6pages, 2014 |
| 197 | Tsutsumi YM | 麻酔科 | Exendin-4 ameliorates cardiac ischemia/reperfusion injury via caveolae and caveolins-3. | Cardiovascular Diabetology 7(13):132, 2014 |
| 198 | Yoko Sakai | 麻酔科 | Propofol-induced relaxation of rat aorta is altered by aging. | The journal of Medical Investigation 61(3,4):278-284,2014 |
| 199 | Tomohiro Soga | 麻酔科 | Fosaprepitant versus ondansetron for the prevention of postoperative nausea and vomiting in patients who undergo gynecologic abdominal surgery with patient-controlled epidural analgesia: a prospective, randomized, double-blind study. | Journal of Anesthesia |
| 200 | Noriko Kambe | 麻酔科 | Impact of newly developed, next-generation artificial endocrine pancreas. | The Journal of Medical Investigation 62(1,2):41-44, 2015 |

| | | | | |
|-----|-------------|---------|---|--|
| 201 | Nami Kakuta | 麻醉科 | Role of an intraoperative single-plane transesophageal echo-cardiography probe for infants with congenital heart disease. | Clinical Pediatric Anesthesia 20:231-235, 2014 |
| 202 | Y.Fukunaga | 形成外科 | One-stage reconstruction of a tracheal defect with a free radial forearm flap and free costal cartilage grafts. | J.Plast.Reconstr.Aesthet.Surg 67(6) : 857-859 : 2014.6 |
| 203 | I.Hashimoto | 形成外科 | The internal pudendal artery perforator flap : free-style pedicle perforator flaps for vulva, vagina, and buttock reconstruction. | Plast.Reconstr.Surg 133 : 924-933 : 2014.4 |
| 204 | K.Minoda | 形成外科 | Chronic inflammation and progressive calcification as a result of fat necrosis : the worst end in fat grafting. | Plast.Reconstr.Surg 133 : 1064-1072 : 2014.5 |
| 205 | I.Hashimoto | 形成外科 | Risk factors for complications after reconstructive surgery for sternal wound infection. | Arch.Plast.Surg 41 : 253-257 : 2014.5 |
| 206 | Y.Abe | 形成外科 | Three-dimensional sodium chloride (NaCl) model for simulated mandibular reconstruction surgery : a new environmentally friendly material. | J.Med.Invest 61(3.4) : 318-324 : 2014.8 |
| 207 | I.Hashimoto | 形成外科 | Limb salvage and vascular augmentation by microsurgical free flap transfer for treatment of neuropathic diabetic foot ulcers. | J.Med.Invest 61(3.4) : 325-332 : 2014.8 |
| 208 | I.Hashimoto | 形成外科 | The internal pudendal artery perforator thigh flap : a new freestyle pedicle flap for the ischial region. | Plast.Reconstr.Surg.Glob.Open2 : e142 : 2014.5 |
| 209 | Oto J | 救急集中治療部 | Efficacy of ventilation through a customized novel cuffed airway exchange catheter: a tracheal/lung model study. | Br J Anaesth. 2014 May;112(5):948-9. |
| 210 | Oto J | 救急集中治療部 | Ventilation efficacy of video-laryngoscopes equipped with a ventilation feature. | Respir Care. 2014 Nov;59(11):1636-42. |
| 211 | Itagaki T | 救急集中治療部 | Hyperoxemia in mechanically ventilated, critically ill subjects: incidence and related factors. | Respir Care. 2015 Mar;60(3):335-40. |
| 212 | Shibata H | 薬剤部 | Investigation of the cleanliness of hospital environmental surfaces by adenosine triphosphate bioluminescence assay. | JPN J Infect Prev Contr, 29, 417-423, 2014. |
| 213 | Okada N | 薬剤部 | Risk factors for early-onset peripheral neuropathy caused by vincristine in patients with a first administration of R-CHOP or R-CHOP-like chemotherapy. | J Clin Med Res. 6, 252-260, 2014 |

| | | | | |
|-----|------------------|--------------|--|---|
| 214 | Kazuaki Mawatari | 栄養部 | Enhancement of Endothelial Function Inhibits Left Atrial Thrombi Development in an Animal Model of Spontaneous Left Atrial Thrombosis. | Circulation Journal, 78(8), pp. 1980-1988, 2014. |
| 215 | Watanabe M | 臨床試験管理センター | Serious adverse events and compensation in registration trials: a review of data from a Japanese university hospital. | BMC Research Notes 245:7, 2014 |
| 216 | Yanagawa H | 臨床試験管理センター | Nurse awareness of clinical research: a survey in a Japanese University Hospital. | BMC Med Res Methodol.14:85, 2014 |
| 217 | Katashima R | 臨床試験管理センター | Present status of Japanese ethics committees : a survey in Tokushima Prefecture. | J Med Invest 61:399-403, 2014 |
| 218 | Yanagawa H | 臨床試験管理センター | Current regulatory systems for clinical trials in Japan: Still room for improvement. | Clin Res Regul Aff 31:25-28, 2014 |
| 219 | Shikama Y | 糖尿病対策センター | Palmitate-stimulated monocytes induce adhesion molecule expression in endothelial cells via IL-1 signaling pathway. | Journal of Cellular Physiology, Vol.230, No.3, pp.732-742, 2015. |
| 220 | Hata A | 糖尿病対策センター | Cut-off value of total adiponectin for managing risk of developing metabolic syndrome in male Japanese workers. | PLoS ONE, Vol.10, No.2, p.e0118373, 2015. |
| 221 | Akaike M | キャリア形成支援センター | Efficacy and safety of Citrus sudachi peel in obese adults: A randomized, double-blind, pilot study. | Functional Foods in Health and Disease 4(6):276-284, 2014 |
| 222 | Yumoto H | 第一保存科 | Anti-inflammatory and protective effects of 2-methacryloyloxyethyl phosphorylcholine polymer on oral epithelial cells. | Journal of Biomedical Materials Research Part A, 103(2), 555-563,2015 |
| 223 | Nakanishi T | 第一保存科 | Catechins inhibit vascular endothelial growth factor production and cyclooxygenase-2 expression in human dental pulp cells. | International Endodontic Journal, 48(3), 277-282, 2015 |
| 224 | Hosokawa Y | 第一保存科 | IL-22 enhances CCL20 production in IL-1beta-stimulated human gingival fibroblasts. | Inflammation, 37(6), 2062-2066, 2014 |

| | | | | |
|-----|----------------|-------|---|---|
| 225 | Takegawa D | 第一保存科 | Modulatory roles of interferon-gamma through indoleamine 2,3-dioxygenase induction in innate immune response of dental pulp cells. | Journal of Endodontics, 40(9), 1382-1387, 2014 |
| 226 | Shindo S | 第一保存科 | Genipin inhibits MMP-1 and MMP-3 release from TNF-alpha-stimulated human periodontal ligament cells. | Biochimie, 107, 391-395, 2014 |
| 227 | Yumoto H | 第一保存科 | Electromagnetic wave irradiation promotes osteoblastic cell proliferation and up-regulates growth factors via activation of the ERK1/2 and p38 MAPK pathways. | Cellular Physiology and Biochemistry. 35(2), 601-615, 2015 |
| 228 | Fukumoto Y | 第二保存科 | Association of gingival recession and other factors with the presence of dentin hypersensitivity. | Odontology 102: 42-49, 2014. |
| 229 | Takuma T | 第二保存科 | Buccal bone resorption around posterior implants after surgery: a 1-year prospective study. | Int J Oral Maxillofac Implants 29: 634-641, 2014. |
| 230 | Kajiura Y | 第二保存科 | Glycated albumin and calprotectin levels in gingival crevicular fluid from periodontitis patients with type 2 diabetes. | J Periodontol 85(12): 1667-1675, 2014. |
| 231 | Naruishi K | 第二保存科 | Predictors of improved functional outcome in elderly inpatients after rehabilitation: A retrospective study. | Clin Interventions Aging 9: 2133-2141, 2014. |
| 232 | Nagata T | 第二保存科 | The close relationship between periodontitis and diabetes and the diagnosis of diabetes-associated periodontitis. | Proceeding of 10th Asian Pacific Society of Periodontology Meeting Nara, 89-95, 2014. |
| 233 | Takaharu Goto | 第一補綴科 | Influence of matrix attachment installation load on movement and resultant forces in implant overdentures. | J Prosthodont. 2015 Feb;24(2):156-63. |
| 234 | Nobuaki Higaki | 第一補綴科 | Do sensation differences exist between dental implants and natural teeth?: a meta-analysis. | Clin Oral Implants Res. 2014 Nov;25(11):1307-10. |
| 235 | Naito Y | 第一補綴科 | The influence of 1alpha,25-dihydroxyvitamin d3 coating on implant osseointegration in the rabbit tibia. | J Oral Maxillofac Res. 2014 Oct 1;5(3):e3. |
| 236 | Shigemoto S | 第二補綴科 | Effect of an exclusion range of jaw movement data from the intercuspal position on the estimation of the kinematic axis point. | Medical Engineering and Physics 36(9):1162-1167, 2014 |
| 237 | Nishigawa K | 第二補綴科 | Case report of recurrent temporomandibular joint open lock associated with abrupt reduction of displaced articular disk. | J Prosthodont Res 58(3):184-190,2014 |
| 238 | Matsuka Y | 第二補綴科 | Basic research and clinical investigations of the neural basis of orofacial pain. | J Oral Biosciences 57(1):27-36, 2015 |

| | | | | |
|-----|-----------------|--------|--|--|
| 239 | Midori Yoshida | 齒科放射線科 | Creation of a dental X-ray unit with a contactless exposure control switch. | DentMaxillofacial Radiology, 43(4),1-5,2014 |
| 240 | Momota Y | 口腔内科 | Orthostatic Dysregulation during Postural Change on the Dental Chair and Intraoperative Monitoring by Heart Rate Variability Analysis. | Case Rep Dent Articl, Epub, doi: 10.1155/2014/656045, 2014 |
| 241 | Momota Y | 口腔内科 | Cerebellopontine Angle Tumor Mimicking Lingual Nerve Injury after Dental Implant Placement: A case Report. | Aust Dent J, Epub, doi: 10.1111/adj.12224, 2014 |
| 242 | Momota Y | 口腔内科 | High-Wattage Pulsed Irradiation of Linearly Polarized Near-Infrared Light to Stellate Ganglion Area on Burning Mouth Syndrome. | Case Rep Dent, Epub, doi: 10.1155/2014/171657, 2014 |
| 243 | Makoto Kinouchi | 口腔外科 | Involvement of miR-518c-5p to Growth and Metastasis in Oral Cancer. | PLoS One 9(12). E115936 2014 |
| 244 | Hirokazu Nagai | 口腔外科 | Effects of low crystalline carbonate apatite on proliferation and osteoblastic differentiation of human bone marrow cells. | J Mater Sci Mater Med. 2015 Feb;26(2):99 |
| 245 | Takaishi K | 齒科麻醉科 | Cuffed oropharyngeal airway for difficult airway management. | Anesthesia Progress 61(3): 107-110, 2014 |
| 246 | Mori H | 矯正齒科 | Cationic liposome-mediated application of myostatin-targeting small interfering RNA for effective gene silencing in vivo. | Development, Growth and Differentiation 56(3): 223-232, April. 2014 |
| 247 | Kuroda S | 矯正齒科 | Interdisciplinary treatment of a nonsyndromic oligodontia patient with implant-anchored orthodontics. | American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics 145(4S): S136-147, April.2014 |
| 248 | Tanaka E | 矯正齒科 | Stress relaxation behaviors of articular cartilages in porcine temporomandibular joint. | Journal of Biomechanics 47(7): 1582-1587, May.2014 |
| 249 | Hichijo N | 矯正齒科 | Effects of the masticatory demand on the rat mandibular growth during development. | Journal of Oral Rehabilitation 41(8):581-587, Aug. 2014 |
| 250 | Kuroda S | 矯正齒科 | Evaluation of torque moment in a novel elastic bendable orthodontic wire. | Dental Materials Journal 33(3): 363-367, June.2014 |

| | | | | |
|-----|-----------------|------|---|---|
| 251 | Hiasa M | 矯正歯科 | Pim-2 kinase is an important target of treatment for bone loss in myeloma. | Leukemia 29(1):207-217, Jan. 2015 |
| 252 | Yasue A | 矯正歯科 | Highly efficient targeted mutagenesis in one-cell mouse embryos mediated by TALEN and CRISPR/Cas systems. | Scientific Reports 4: 5705, doi: 10.1038/srep05705 , July. 2014 |
| 253 | Sato M | 矯正歯科 | Low-intensity pulsed ultrasound activates integrin-mediated mechanotransduction pathway in synovial cells. | Annals of Biomedical Engineering 42(10):2156-2163, Oct. 2014 |
| 254 | Iwasa A | 矯正歯科 | Aromatase controls the development of autoimmunity through adipose tissue-associated M1-macrophages. | American Journal of Pathology 185(1): 151-161, Jan. 2015 |
| 255 | Kawai N | 矯正歯科 | Prevention of skeletal muscle atrophy in vitro using anti-ubiquitination oligopeptide carried by atelocollagen. | BBA Molecular Cell Research 1853(5):873-880, Feb. 2015 |
| 256 | Kuroda S | 矯正歯科 | Risks and complications of miniscrew anchorage in clinical orthodontics. | Japanese Dental Science Review 50(4): 79-85, Nov. 2014 |
| 257 | Hasegawa T | 小児歯科 | Dental findings and management in a child with hypomelanosis of Ito. | PEDIATRIC DENTAL JOURNAL, 24(3):173-177, 2014 |
| 258 | Abe Susumu | 総合歯科 | Rem sleep behavior disorder patients: a case control study sleep bruxism. | Sleep Medicine Clinics 14(S); e54- e55, 2014 |
| 259 | Chieko Sugawara | 総合歯科 | Neuroendocrine tumor in the mandible: A case report with imaging and histopathological findings. | Oral surgery, Oral Medicine, Oral Pathology and Radiology 19(1): e41-e48, 2015 |

計 259

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

| 番号 | 発表者氏名 | 発表者の所属 | 題名 | 雑誌名 |
|----|--|----------|--|---|
| 1 | Sahara M, Ikutomi M, Morita T, Minami Y, Nakajima T, Hirata Y, Nagai R, Sata M | 循環器内科 | Deletion of angiotensin-converting enzyme 2 promotes the development of atherosclerosis and arterial neointima formation. | Cardiovasc Res. 101(2): 236-246, 2014 |
| 2 | Sawada N, Jiang A, Takizawa F, Safdar A, Manika A, Tesmenitsky Y, Kang KT, Bischoff J, Kalwa H, Sartoretto JL, Kamei Y, Benjamin LE, Watada H, Ogawa Y, Higashikuni Y, Kessinger CW, Jaffer FA, Michel T, Sata M, Croce K, Tanaka R, Arany Z | 循環器内科 | Endothelial PGC-1alpha mediates vascular dysfunction in diabetes. | Cell Metab. 19(2): 246-258, 2014 |
| 3 | Kimura Y, Komaki M, Iwasaki K, Sata M, Izumi Y, Morita I | 循環器内科 | Recruitment of bone marrow-derived cells to periodontal tissue defects. | Front Cell Dev Biol. 2:(Article 19), 2014 |
| 4 | Shigekiyo T, Sekimoto E, Shibata H, Ozaki S, Kurushima A, Aihara K. | 生体情報内科 | Antithrombin-p.Ala416Pro: the second reported case in Japan. | Intern Med. 2014;53(5):477-81. |
| 5 | Kikuchi R, Nakamura K, MacLauchlan S, Ngo DT, Shimizu I, Fuster JJ, Katanasaka Y, Yoshida S, Qiu Y, Yamaguchi TP, Matsushita T, Murohara T, Gokce N, Bates DO, Hamburg NM, Walsh K. | 生体情報内科 | An antiangiogenic isoform of VEGF-A contributes to impaired vascularization in peripheral artery disease. | Nat Med. 2014 Dec;20(12):1464-71. |
| 6 | Fujisawa K, Yasuda T, Kaneto H, Katakami N, Tsuji M, Kubo F, Sasaki S, Miyashita K, Naka T, Kasami R, Kuroda A, Matsuhisa M, Shimomura I. | 生体情報内科 | Short- and long-term effect of sitagliptin after near normalization of glycemic control with insulin in poorly controlled Japanese type 2 diabetic patients. | Journal of Diabetes Investigation 5(5)548-553 2014 |
| 7 | Shimo N, Yasuda T, Kaneto H, Katakami N, Kuroda A, Sakamoto F, Takahara M, Irie Y, Horikawa K, Miyashita K, Miyatsuka T, Yoshiuchi K, Kawamori D, Sakamoto K, Matsuoka TA, Kosugi K, Shimomura I, Matsuhisa M. | 生体情報内科 | Vitamin D deficiency is significantly associated with retinopathy in young Japanese type 1 diabetic patients. | Diabetes Research and Clinical Practice 106(2):e41-3 2014 |
| 8 | Yokoi K, Tanei T, Godin B, van de Ven AL, Hanibuchi M, Matsunoki A, Alexander J, Ferrari M | 呼吸器膠原病内科 | Serum biomarkers for personalization of nanotherapeutics-based therapy in different tumor and organ microenvironments. | Cancer Letters. 345(1):48-55, 2014 |

| | | | | |
|----|---|----------|--|--|
| 9 | Matsuo T, Dat LT, Komatsu M, Yoshimaru T, Daizumoto K, Sone S, Nishioka Y, Katagiri T. | 呼吸器膠原病内科 | Early Growth Response 4 Is Involved in Cell Proliferation of Small Cell Lung Cancer through Transcriptional Activation of Its Downstream Genes. | PLoS ONE.20:9(11),2014 |
| 10 | Ishikawa H, Mutoh M, Suzuki S, Tokudome S, Saida Y, Abe T, Okamura S, Tajika M, Joh T, Tanaka S, Kudo S, Matsuda T, Iimuro M, Yukawa T, Takayama T, Sato Y, Lee K, Kitamura S, Mizuno M, Sano Y, Gondo N, Sugimoto K, Kusunoki M, Goto C, Matsuura N, Sakai T, Wakabayashi K. | 消化器内科 | The preventive effects of low-dose enteric-coated aspirin tablets on the development of colorectal Q1 tumours in Asian patients: a randomised trial. | GUT, 2014; 63(11):1755-1759 |
| 11 | Imoto Y, Takaoka T, Muguruma N, Teramae S, Shinomiya H, Wada S, Takayama T. | 消化器内科 | Impacted gastroscope in the esophagus. | Endoscopy, 2014; 46(S1):E523 |
| 12 | Teramae S, Miyamoto H, Muguruma N, Okada Y, Goji T, Kitamura S, Kimura T, Kimura M, Bando Y, Takayama T. | 消化器内科 | Insulin-like growth factor II-producing metastatic colon cancer with recurrent hypoglycemia. | Clin J Gastroenterol, 2015; 8(1): 35-40. |
| 13 | Mehndiratta MM, Kaji R, Wong KS, Ng PW, Gulati NS. | 神経内科 | Asian and Oceanian Congress of Neurology 2014: intraregional and interregional synergy. | Neurology. 2015 Mar 24;84(12):1269-71. |
| 14 | Mitsui Y, Kusunoki S, Arimura K, Kaji R, Kanda T, Kuwabara S, Sonoo M, Takada K; Japanese GBS Study Group. | 神経内科 | A multicentre prospective study of Guillain-Barré syndrome in Japan: a focus on the incidence of subtypes. | J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2015 Jan;86(1):110-4. |
| 15 | Kumar KR, Lohmann K, Masuho I, Miyamoto R, Ferbert A, Lohnau T, Kasten M, Hagenah J, Brüggemann N, Graf J, Münchau A, Kostic VS, Sue CM, Domingo AR, Rosales RL, Lee LV, Freimann K, Westenberger A, Mukai Y, Kawarai T, Kaji R, Klein C, Martemyanov KA, Schmidt A. | 神経内科 | Mutations in GNAL: a novel cause of craniocervical dystonia. | JAMA Neurol. 2014 Apr;71(4):490-4. |
| 16 | Tanabe A, Yamamura Y, Kasahara J, Morigaki R, Kaji R, Goto S. | 神経内科 | A novel tyrosine kinase inhibitor AMN107 (nilotinib) normalizes striatal motor behaviors in a mouse model of Parkinson's disease. | Front Cell Neurosci. 2014 Feb 20;8:50. |

| | | | | |
|----|--|-----------|--|--|
| 17 | Arii Y, Sawada Y, Kawamura K, Miyake S, Taichi Y, Izumi Y, Kuroda Y, Inui T, Kaji R, Mitsui T. | 神経内科 | Immediate effect of spinal magnetic stimulation on camptocormia in Parkinson's disease. | J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2014 Nov;85(11):1221-6. |
| 18 | Mehndiratta MM, Mehndiratta P, Tsai CP, Kaji R, Gulati NS, Wasay M, Macdonell R. | 神経内科 | Evolution, current status, and way forward for the Asian Oceanian Association of Neurology. | Neurology. 2014 Nov 11;83(20):1853-5. |
| 19 | Osaki Y, Takamatsu N, Shimatani Y, Mori A, Maruyama K, Miyazaki Y, Nodera H, Kaji R. | 神経内科 | Ultrasonographic evaluation of myokymic discharges. | Clin Neurophysiol. 2015 Aug;126(8):1638-9 |
| 20 | Goto S, Morigaki R, Okita S, Nagahiro S, Kaji R. | 神経内科 | Development of a highly sensitive immunohistochemical method to detect neurochemical molecules in formalin-fixed and paraffin-embedded tissues from autopsied human brains. | Front Neuroanat. 2015 Mar 3;9:22. |
| 21 | Sakai W, Matsui N, Fujita K, Izumi Y, Nishida Y, Takahashi T, Kanbayashi T, Kaji R. | 神経内科 | Case of neuromyelitis optica spectrum disorder associated with central pontine and extrapontine myelinolysis preceded by syndrome of inappropriate antidiuretic hormone secretion. | Rinsho Shinkeigaku. 2014;54(7):556-60. |
| 22 | Miura T, Watanabe S, Urushihara M, Kobori H, Fukuda M. | 小児科 | The natriuretic effect of angiotensin receptor blockers is not attributable to blood pressure reduction during the previous night, but to inhibition of tubular sodium reabsorption. | J Renin Angiotensin Aldosterone Syst. 15(3):316-8.2014 |
| 23 | Hayabuchi Y, Sakata M, Inoue M, Mori K, Kagami S. | 小児科 | Echocardiographic assessment of anomalous origin of the left coronary artery from the pulmonary artery. | J Echocardiography 2014 June 12(2):60-61 |
| 24 | Ono A, Hayabuchi Y, Sakata M, Ichihara Y, Kagami S, Mori K. | 小児科 | Right ventricular thrombosis in two patients with pulmonary atresia with intact ventricular septum. | J Echocardiography 2014 June 12(2):62-64 |
| 25 | Suzue M, Mori K, Inoue M, Hayabuchi Y, Nakagawa R, Kagami S. | 小児科 | Developmental changes in the left ventricular diastolic wall strain on M-mode echocardiography. | J Echocardiography 2014 Sept 12(3):98-105 |
| 26 | Sugihara K, Yamanaka-Okumura H, Teramot A, Urano E, Katayama T, Morine Y, Imura S, Utsunomiya T, Shimada M, Takeda E | 消化器外科 | Recovery of nutritional metabolism after liver transplantation. | Nutrition 2015;31(1):105-110 |
| 27 | Tadaoki Morimoto, Akira Tangoku, Takashi Yamakawa, Masaki Tsuruno, Shigemitsu Takashima | 胸部内分泌腫瘍外科 | Promotion of quality-controlled mammography alone as a screening modality in Japan. | Breast Cancer 21(4) : 435-441, 2014 |

| | | | | |
|----|---|-----------|---|---|
| 28 | Wenxi Gao, Jinbo Zhao, Hyunhee Kim, Shuyun Xu, Manyin Chen, Xiaohui Bai, Hiroaki Toba, Hae-Ra Cho, Haibo Zhang, Shaf Keshavjee, Mingyao Liu | 胸部内分泌腫瘍外科 | alpha1-Antitrypsin inhibits ischemia reperfusion-induced lung injury by reducing inflammatory response and cell death. | J Heart Lung Transplant 3(3) : 309-315. 2014 |
| 29 | Jinbo Zhao, Yingchun Wang, Andrew Wakeham, Zhenyue Hao, Hiroaki Toba, Xiaohui Bai, Shaf Keshavjee, Tak W. Mak, Mingyao Liu | 胸部内分泌腫瘍外科 | XB130 Deficiency Affects Tracheal Epithelial Differentiation during Airway Repair. | PLOS ONE 9(10) : e108952, 2014 |
| 30 | Hasebe K, Sairyo K, Hada Y, Dezawa A, Okubo Y, Kaneoka K, Nakamura Y. | 整形外科 | Spino-pelvic-rhythm with forward trunk bending in normal subjects without low back pain. | Eur J Orthop Surg Traumatol,24(suppl 1);S193-199,2014 |
| 31 | Fujinaga Y, Yoshioka H, Sakai T, Sakai Y, Souza F, Lang P. | 整形外科 | Quantitative measurement of femoral condyle cartilage in the knee by MRI: validation study by multireaders. | J Magn Reson Imaging,39(4);972-7,2014 |
| 32 | Yamabe E, Anavim A, Sakai T, Miyagi R, Nakamura T, Hitt D, Yoshioka H. | 整形外科 | Comparison between high-resolution isotropic three-dimensional and high-resolution conventional two-dimensional FSE MR images of the wrist at 3 tesla: a pilot study. | J Magn Reson Imaging,40(3);603-8,2014 |
| 33 | Dezawa A, Sairyo K. | 整形外科 | Comparison of organic electroluminescence and liquid crystal displays for clinical utility in orthopedic endoscopic surgery. | Asian J Endosc Surg,7(2);152-159,2014 |
| 34 | Takahashi M, Sakai T, Sairyo K, Takao S, Mima S, Yasui N. | 整形外科 | Magnetic resonance imaging in adolescent symptomatic navicular tuberosity. | J Med Invest,61(1-2);22-27,2014 |
| 35 | Terai T, Yamada H, Asano K, Nawata A, Iwasaki T, Henmi T, Sairyo K. | 整形外科 | Effectiveness of three types of lumbar orthosis for restricting extension motion. | Eur J Orthop SurgTraumatol,24(suppl1);S239-243,2014 |
| 36 | Takahashi M, Tonogai I, Sairyo K. | 整形外科 | Treatment of extra-articular distal radial malunion with percutaneous osteotomy and an intramedullary implant. | Hand Surg,19(2);217-222,2014 |
| 37 | Sugiura K, Tonogai I, Matsuura T, Higashino K, Sakai T, Suzue N, Hamada D, Goto T, Takata Y, Nishisho T, Goda Y, Sato R, Kondo K, Tezuka F, Mineta K, Takeuchi M, Takahashi M, Egawa H, Sairyo K. | 整形外科 | Discoscopic findings of high signal intensity zones on magnetic resonance imaging of lumbar intervertebral discs. | Case Rep Orthop. [Epub 2014 May 21] |
| 38 | Takahashi M, Kasai T, Nishisho T, Takai M, Endo H, Hirose T, Sairyo K. | 整形外科 | Reverse adipofascial flap after resection of a malignant perineurioma of the forearm. | Orthopedics,37(7);e661-664,2014 |

| | | | | |
|----|--|-------|---|---|
| 39 | Tamaki Y, Goto T, Hamada D, Nishisho T, Yukata K, Naoto S, Egawa H, Sairyo K. | 整形外科 | Massive femoral osteolysis secondary to loosening of a cemented roughened long stem: a case report. | Case Rep Orthop. [Epub 2014 Jun 23] |
| 40 | Tezuka F, Sairyo K, Sakai T, Dezawa A. | 整形外科 | Etiology of Adult-onset Stress Fracture in the Lumbar Spine. | J Spinal Disord Tech. 2014 Aug 4. [Epub ahead of print] |
| 41 | Toki S, Hibino N, Sairyo K, Takahashi M, Yoshioka S, Yamano M, Henmi T. | 整形外科 | Osteomyelitis Caused by <i>Candida glabrata</i> in the Distal Phalanx. | Case report in Orthopedics. [Epub 2014 Aug 24] |
| 42 | Takeuchi M, Goto T, Yukata K, Suzue N, Hamada D, Nishisho T, Tonogai I, Matsuura T, Sairyo K. | 整形外科 | Nonunion of the first sternocostal synchondrosis accompanied by sternoclavicular joint synovitis. | Case Rep Orthop, Epub 2014 Aug 28. |
| 43 | Mishiro T, Sairyo K, Shinohara A, Chikawa T, Kosaka H, Dezawa A. | 整形外科 | Assessment of maximal insertional torque of cervical and thoracic screws during posterior spinal surgery. | J Med Invest, 61(3,4):393-398, 2014 |
| 44 | Takeuchi M, Suzue N, Matsuura T, Higashino K, Sakai T, Hamada D, Goto T, Takata Y, Nishisho T, Goda Y, Sato R, Tonogai I, Mineta K, Sairyo K. | 整形外科 | Reconstruction of chronic Achilles tendon rupture using the semitendinosus tendon: a case report. | J Med Invest, 61(3,4):417-420, 2014 |
| 45 | Tezuka F, Sakai T, Miyagi R, Takata Y, Higashino K, Katoh S, Sairyo K, Yasui N. | 整形外科 | Complete resolution of a case of calcific tendinitis of the longus colli with conservative treatment. | Asian Spine J, 8(5):675-679, 2014 |
| 46 | Takasago T, Goto T, Toki S, Hamada D, Yoshioka S, Tonogai I, Tsutsui T, Tamaki Y, Wada K, Sairyo K. | 整形外科 | Intrapelvic migration of the lag screw in intramedullary nailing. | Case Rep Orthop, Epub 2014 Dec 29. |
| 47 | Yamamoto N, Katoh S, Higashino K, Sairyo K. | 整形外科 | Idiopathic spinal cord herniation with duplicated dura mater and dorsal subarachnoid septum. Report of a case and review of the literature. | Int J Spine Surg. 2014 Dec 1;8. eCollection 2014. |
| 48 | Tezuka F, Sakai T, Takata Y, Higashino K, Sairyo K. | 整形外科 | Multi-level spondylolisthesis required transdiscal screws due to the rare vertebral deformities. A case report. | Ann Orthop Rheumatol, 2(1):101-102, 2014 |
| 49 | Tanaka K, Uehara T, Kimura K, Okada Y, Hasegawa Y, Tanahashi N, Suzuki A, Takagi S, Nakagawara J, Arii K, Nagahiro S, Ogasawara K, Nagao T, Uchiyama S, Matsumoto M, Iihara K, Toyoda K, Minematsu K | 脳神経外科 | Features of patients with transient monocular blindness: a multicenter retrospective study in Japan. | J Stroke Cerebrovascular Disease, 23: e151-155, 2014 |

| | | | | |
|----|---|-------|---|--|
| 50 | Matsubara S, Satoh K, Satomi J, Shigeikiyo T, Kinouchi T, Miyake H, Nagahiro S | 脳神経外科 | Acquired pial and dural arteriovenous fistulae following superior sagittal sinus thrombosis in patients with protein S deficiency: A report of two cases. | Neurol Med Chir (Tokyo), 54: 245-252, 2014 |
| 51 | Uehara T, Kimura K, Okada Y, Hasegawa Y, Tanahashi N, Suzuki A, Takagi S, Nagakagawa J, Arie K, Nagahiro S, Ogasawara K, Nagao T, Uchiyama S, Matsumoto M, Iihara K, Minematsu K | 脳神経外科 | Factors associated with onset-to-door time in patients with transient ischemic attack admitted to stroke centers. | Stroke, 45: 611-613, 2014 |
| 52 | Okazaki T, Kageji T, Mizobuchi Y, Miyamoto T, Nagahiro S | 脳神経外科 | Nine-year interval recurrence after treatment of boron neutron capture therapy in a patient with glioblastoma: A case report. | Applied Radiation and Isotopes, 88: 28-31, 2014 |
| 53 | Okazaki T, Yamamoto Y, Yoda K, Nagahiro S | 脳神経外科 | The ratio of D-dimer to brain natriuretic peptide may help to differentiate between cerebral infarction with and without acute aortic dissection. | Journal of the Neurological Sciences, 340: 133-138, 2014 |
| 54 | Etminan N, Beseoglu K, Barrow DL, Bedersonn J, Brown RD Jr, Connolly ES Jr, Derdeyn CP, H nggi D, Hasan D, Juvela S, Kasuya H, Kirkpatrick PJ, Knuckey N, Koivisto T, Lanzino G, Lawton MT, LeRoux P, McDougall CG, Mee E, Mocco J, Molyneux A, Morgan MK, Mori K, Morita A, Murayama Y, Nagahiro S, Pasqualin A, Raabe A, Raymond J, Rinkel GJE, Rfenacht D, Seifert V, Spears J, Steiger HJ, Steinmetz H, Torner JC, Vajkoczy P, Wanke I, Wong GKC, Wong JH, MacDonald RL | 脳神経外科 | Multidisciplinary consensus on assessment of unruptured intracranial aneurysms: Proposal of an international research group. | Stroke, 45: 1523-1530, 2014 |

| | | | | |
|----|--|--------|--|--|
| 55 | Miyamoto S, Yoshimoto T, Hashimoto N, Okada Y, Tsuji, I, Tominaga T, Nakagawara J, Takahashi JC, on behalf of the JAM Trial Investigators; Yamada K, Tomata Y, Fukui T, Fukuuchi Y, Ohmoto T, Kuwabara Y, Nagata I, Ono J, Machida T, Sakakibara R, Yamane K, Okita S, Iwama T, Kaku Y, Saito N, Fukuyama H, Houkin K, Kuroda S, Yabe I, Moriwaka F, Ogawa A, Ogasawara K, Yoshida K, Fujii K, Yamada M, Sato K, Akutsu T, Yamagata S, Takeuchi S, Hayashi K, Horie N, Yamada K, Osato T, Watanabe T, Honjo K, Sako K, Nakase H, Kawaguchi S, Nisimura F, Yamao J, Naritomi H, Inoue T, Aŕe H, Suzuki A, Ishikawa T, Akiyama Y, Suenaga T, Fujimura M, Nagahiro S, Uno M, Nishi K, Satomi J, Okada Y, Kawashima A, Yamaguchi K, Tsutsumi Y | 脳神経外科 | Effect of extracranial-intracranial bypass for patients with hemorrhagic moyamoya disease - Results of the Japan adult moyamoya trial- | Stroke, 45: 1415-1421, 2014 |
| 56 | Fujinami J, Uehara T, Kimura K, Okada Y, Hasegawa Y, Tanahashi N, Suzuki A, Takagi S, Nakagawara J, Arie K, Nagahiro S, Ogasawara K, Nagao T, Uchiyama S, Matsumoto M, Iihara K, Minematsu K | 脳神経外科 | Incidence and predictors of ischemic stroke events during hospitalization in patients with transient ischemic attack. | Cerebrovascular Disease, 37: 330-335, 2014 |
| 57 | Hirasawa M, Mure H, Toi H, Nagahiro S | 脳神経外科 | Surgical results of lumbar interbody fusion using calcium phosphate cement. | Neurol Med Chirur, 54: 722-726, 2014 |
| 58 | Stacy MR, Naito Y, Maxfield MW, Kurobe H, Tara S, Chan C, Rocco KA, Shinoka T, Sinusas AJ, Breuer CK. | 心臓血管外科 | Targeted imaging of matrix metalloproteinase activity in the evaluation of remodeling tissue-engineered vascular grafts implanted in a growing lamb model. | J Thorac Cardiovasc Surg. 2014 Nov;148(5):2227-2233. |
| 59 | Hida T., Kubo Y., et al. | 皮膚科 | Case of erythema nodosum associated with granulomatous mastitis probably due to corynebacterium infection. | J. Dermatol, 41・9, 821-823, 2014 |
| 60 | Oshima M., Kubo Y., et al. | 皮膚科 | Improvement of scalp condition and quality of life through proper skin care of dry scalp. | J. Cosmet. Dermatol. Sci. Appl, 4, 284-292, 2014 |

| | | | | |
|----|--|------|---|--|
| 61 | Fujimoto H1, Nakanishi H, Miki T, Kanayama HO, Ohyama C, Suzuki K, Nishiyama H, Eto M, Naito S, Fukumori T, Kubota Y, Takahashi S, Homma Y, Kamoi K. | 泌尿器科 | Oncological outcomes of renal pelvic and ureteral cancer patients registered in 2005: the first large population report from the Cancer Registration Committee of the Japanese Urological Association. | Int J Urol. 2014 May;21(5):527-34. doi: 10.1111/iju.12367. Epub 2013 Dec 23. |
| 62 | Inamoto T1, Azuma H, Nonomura N, Nakatani T, Matsuda T, Nozawa M, Ueda T, Kinoshita H, Nishimura K, Kanayama HO, Miki T, Tomita Y, Yoshioka T, Tsujihata M, Uemura H. | 泌尿器科 | Favorable outcome in elderly Asian patients with metastatic renal cell carcinoma treated with everolimus: the Osaka Urologic Oncology Group. | Asian Pac J Cancer Prev. 2014;15(4):1811-5. |
| 63 | Miki T1, Kamoi K, Fujimoto H, Kanayama HO, Ohyama C, Suzuki K, Nishiyama H, Eto M, Naito S, Fukumori T, Kubota Y, Takahashi S, Mikami K, Homma Y. | 泌尿器科 | Clinical characteristics and oncological outcomes of testicular cancer patients registered in 2005 and 2008: the first large-scale study from the Cancer Registration Committee of the Japanese Urological Association. | Int J Urol. 2014 Aug;21(8):S1-6. doi: 10.1111/iju.12441. Epub 2014 Apr 13. |
| 64 | Kuroda N1, Furuya M2, Nagashima Y2, Gotohda H3, Moritani S4, Kawakami F5, Imamura Y6, Bando Y7, Takahashi M8, Kanayama HO8, Ota S9, Michal M10, Hes O10, Nakatani Y9. | 泌尿器科 | Intratumoral peripheral small papillary tufts: a diagnostic clue of renal tumors associated with Birt-Hogg-Dubé syndrome. | Ann Diagn Pathol. 2014 Jun;18(3):171-6. doi: 10.1016/j.anndiagnpath.2014.03.002. Epub 2014 Mar 29. |
| 65 | Matsuda T1, Kanayama H, Ono Y, Kawauchi A, Mizoguchi H, Nakagawa K, Iwamura M, Shigeta M, Habuchi T, Terachi T; Referee Committee of the Endoscopic Surgical Skill Qualification System in Urological Laparoscopy. | 泌尿器科 | Reliability of laparoscopic skills assessment on video: 8-year results of the endoscopic surgical skill qualification system in Japan. | J Endourol. 2014 Nov;28(11):1374-8. doi: 10.1089/end.2014.0092. Epub 2014 Jul 16. |
| 66 | Eto M1, Uemura H, Tomita Y, Kanayama H, Shinohara N, Kamei Y, Fujii Y, Umeyama Y, Ozono S, Naito S, Akaza H; Japan Axitinib Phase II Study Group. | 泌尿器科 | Overall survival and final efficacy and safety results from a Japanese phase II study of axitinib in cytokine-refractory metastatic renal cell carcinoma. | Cancer Sci. 2014 Dec;105(12):1576-83. doi: 10.1111/cas.12546. Epub 2014 Nov 25. |
| 67 | Toriyama K, Suzuki T, Inoue T, Eguchi H, Hoshi S, Inoue Y, Aizawa H, Miyoshi K, Ohkubo M, Hiwatashi E, Tachibana H, Ohashi Y: | 眼科 | Development of an immunochromatographic assay kit using fluorescent silica nanoparticles for rapid diagnosis of acanthamoeba keratitis. | J Clin Microbiol 53:273-277,2015. |
| 68 | Kinoshita T, Imaizumi H, Miyamoto H, Okushiba U, Hayashi Y, Katome T, Mitamura Y: | 眼科 | Changes in metamorphopsia in daily life after successful epiretinal membrane surgery and correlation with M-CHARTS score. | Clin Ophthalmol 9: 225-233,2015 |

| | | | | |
|----|---|---------|---|--|
| 69 | Y. Zheng, L. Geddes, G. Sato, L. Stiles, C. L. Darlington, P. F. Smith | 耳鼻咽喉科 | Galvanic Vestibular Stimulation Impairs Cell Proliferation and Neurogenesis in the Rat Hippocampus but not Spatial Memory. | Hippocampus 24(5): 541-552, 2014 |
| 70 | Kondo E, Jinnouchi O, Ohnishi H, Kawata I, Nakano S, Goda M, Kitamura Y, Abe K, Hoshikawa H, Okamoto H, Takeda N. | 耳鼻咽喉科 | Effects of aural stimulation with capsaicin ointment on swallowing function in elderly patients with non-obstructive dysphagia. | Clin Interv Aging. 9: 1661-1667, 2014 |
| 71 | Gomez D, Komaki R, Yu J, Ikushima H, Bezjak A. | 放射線科 | Radiation therapy definitions and reporting guidelines for thymic malignancies. | Zhongguo Fei Ai Za Zhi Vol17No.2,P110-115, 2014 |
| 72 | Matsui S, Yasui T, Tani A, Kato T, Uemura H, Kuwahara A, Matsuzaki T, Arisawa K, Irahara M. | 産婦人科 | Effect of ultra-low-dose estradiol and dydrogesterone on arterial stiffness in postmenopausal women. | Climacteric. 2014 Apr;17(2):191-196 |
| 73 | Yamamoto Y, Kuwahara A, Taniguchi Y, Yamasaki M, Tanaka Y, Mukai Y, Yamashita M, Matsuzaki T, Yasui T, Irahara M. | 産婦人科 | Tumor necrosis factor alpha inhibits ovulation and induces granulosa cell death in rat ovaries. | Reprod Med Biol. 2015;14(3):107-115. |
| 74 | Y.Fukunaga | 形成外科 | Pediced superficial femoral artery perforator flaps for reconstruction of large groin defects. | Microsurgery 34(6) : 470-474 : 2014.9 |
| 75 | K.Mineda | 形成外科 | Normobaric hyperoxygenation enhances initial survival, regeneration, and final retention in fat grafting. | Plast.Reconstr.Surg134(5) : 951-959 : 2014.11 |
| 76 | I.Hashimoto | 形成外科 | Serum albumin levels correlate with inflammation rather than nutrition supply in burns patients : a retrospective study. | J.Med.Invest 61(3.4) : 361-368 : 2014.8 |
| 77 | Y.Fukunaga | 形成外科 | T-shaped Pectoralis Major Musculocutaneous Flap for Reconstruction of an Extensive Circumferential Pharyngeal Defect. | Plast.Reconstr.Surg.Glob.Open 2(4) : e129 : 2014.5 |
| 78 | I.Hashimoto | 形成外科 | Over expressed HIF-2alpha in Endothelial Cells Promotes Vascularization and Improves Random Pattern Skin Flap Survival. | Plast.Reconstr.Surg.Glob.Open 2 : e132-e140 : 2014.4 |
| 79 | K.Mineda | 形成外科 | Application of normobaric hyperoxygenation to an ischemic flap and a composite skin graft. | Plast.Reconstr.Surg.Glob.Open2 : e152 : 2014.5 |
| 80 | Okuda N, Nakataki E, Itagaki T, Onodera M, Imanaka H, Nishimura M. | 救急集中治療部 | Complete bronchial obstruction by granuloma in a paediatric patient with transalaryngeal endotracheal tube: a case report. | J Med Case Rep. 2014 Jul 24;8:260. |

| | | | | |
|----|---|---------|--|---|
| 81 | Bustamante A, Sobrino T, Giralt D, García-Berrocoso T, Llombart V, Ugarriza I, Espadaler M, Rodríguez N, Sudlow C, Castellanos M, Smith CJ, Rodríguez-Yáñez M, Waje-Andreassen U, Tanne D, Oto J, Barber M, Worthmann H, Wartenberg KE, Becker KJ, Chakraborty B, Oh SH, Whiteley WN, Castillo J, Montaner J. | 救急集中治療部 | Prognostic value of blood interleukin-6 in the prediction of functional outcome after stroke: a systematic review and meta-analysis. | J Neuroimmunol. 2014 Sep 15;274(1-2):215-24. |
| 82 | Tamura T, Yatabe T, Yokoyama M, Nishimura M. | 救急集中治療部 | Current status of studies about optimal composition of amino acid and protein for ICU patients: systematic review. | Anaesth Intensive Care. 2014 Nov;42(6):806-7. |
| 83 | Chenelle CT, Oto J, Sulemanji D, Fisher DF, Kacmarek RM. | 救急集中治療部 | Evaluation of an automated endotracheal tube cuff controller during simulated mechanical ventilation. | Respir Care. 2015 Feb;60(2):183-90. |
| 84 | Chikata Y, Okuda N, Izawa M, Onodera M, Nishimura M. | 救急集中治療部 | Performance of ventilators compatible with magnetic resonance imaging: a bench study. | Respir Care. 2015 Mar;60(3):341-6. |
| 85 | Asai S, Motoyama A, Matsumoto Y, Konami H, Imanaka H, Nishimura M. | 救急集中治療部 | Decrease in cuff pressure during the measurement procedure: an experimental study. | J Intensive Care. 2014 Jun 2;2(1):34. |
| 86 | Kihira Y, Miyake M, Hirata M, Hoshina Y, Kato K, Shirakawa H, Sakae H, Yamano N, Izawa-Ishizawa Y, Ishizawa K, Ikeda Y, Tsuchiya K, Tamaki T, Tomita S. | 薬剂部 | Deletion of hypoxia-inducible factor-1alpha in adipocytes enhances glucagon-like peptide-1 secretion and reduces adipose tissue inflammation. | PLoS One. 9, e93856, 2014 |
| 87 | Imanishi M, Ishizawa K, Sakurada T, Izawa-Ishizawa Y, Yamano N, Kihira Y, Ikeda Y, Tsuchiya K, Tamaki T. | 薬剂部 | Drug development for cardiorenal disease based on oxidative stress control. | Yakugaku Zasshi. 134, 715-719, 2014 |
| 88 | Hashida C, Tanaka N, Kawazoe K, Murakami K, Sun HD, Takaishi Y, Kashiwada Y. | 薬剂部 | Hypelodins A and B, polyprenylated benzophenones from Hypericum elodeoides. | J Nat Med. 68, 737-742, 2014 |
| 89 | Yoshida K, Yoshioka M, Okamura H, Satomi M, Kawazoe K, Daniel G, Hinode D. | 薬剂部 | Preventive effect of Daiokanzoto (TJ-84) on 5-fluorouracil-induced human gingival cell death through the inhibition of reactive oxygen species production. | PLoS ONE, 9, e112689, 2014 |
| 90 | Aki K, Kawazoe K, Izumi A, Tada T, Minakuchi K, Hosoi E. | 薬剂部 | Direct determination of ABO blood group genotypes from whole blood using PCR-amplification of specific alleles method. | Am J BioSci, 2, 49-55, 2014 |

| | | | | |
|----|--|-----|---|---|
| 91 | Ikeda S, Yamamoto H, Masuda M, Takei Y, Nakahashi O, Kozai M, Tanaka S, Nakao M, Taketani Y, Segawa H, Iwano M, Miyamoto K, Takeda E. | 栄養部 | Downregulation of renal type IIa sodium-dependent phosphate cotransporter during lipopolysaccharide-induced acute inflammation. | Am J Physiol Renal Physiol. Apr 1;306(7):F744-50. 2014. |
| 92 | Urano E, Yamanaka-Okumura H, Teramoto A, Sugihara K, Morine Y, Imura S, Utsunomiya T, Shimada M, Takeda E. | 栄養部 | Pre- and postoperative nutritional assessment and health-related quality of life in recipients of living donor liver transplantation. | Hepatol Res 44(11): 1102-1109, 2014 |
| 93 | Nomura K, Tatsumi S, Miyagawa A, Shiozaki Y, Sasaki S, Kaneko I, Ito M, Kido S, Segawa H, Sano M, Fukuwatari T, Shibata K, Miyamoto K. | 栄養部 | Hepatectomy-related hypophosphatemia: a novel phosphaturic factor in the liver-kidney axis. | J Am Soc Nephrol. Apr;25(4):P761-72. 2014. |
| 94 | Sugihara K, Yamanaka-Okumura H, Teramoto A, Urano E, Katayama T, Mori H, Utsunomiya T, Shimada M, Takeda E. | 栄養部 | Recovery pattern of non-protein respiratory quotient and non-esterified fatty acids after liver resection. | Nutrition 30(4): 443-448, 2014 |
| 95 | Tsutsumi R, Ohashi K, Tsutsumi YM, Horikawa YT, Minakuchi J, Minami S, Harada N, Sakaue H, Sakai T, Nakaya Y. | 栄養部 | Albumin-normalized serum zinc: a clinically useful parameter for detecting taste impairment in patients undergoing dialysis. | Nutr Res. 34-1, 11-16, 2014. |
| 96 | Tatsumi S, Fujii O, Miyagawa A, Miyamoto K. | 栄養部 | Sodium-dependent inorganic phosphate transporters and biomineralization. | Clin Calcium. Feb;24(2):P249-55. 2014. |
| 97 | Kido S, Fujihara M, Nomura K, Sasaki S, Mukai R, Ohnishi R, Kaneko I, Segawa H, Tatsumi S, Izumi H, Kohno K, Miyamoto K. | 栄養部 | Molecular mechanisms of cadmium-induced fibroblast growth factor 23 upregulation in osteoblast-like cells. | Toxicol Sci. Jun;139(2):P301-16.2014. |
| 98 | Nakahashi O, Yamamoto H, Tanaka S, Kozai M, Takei Y, Masuda M, Kaneko I, Taketani Y, Iwano M, Miyamoto K, Takeda E. | 栄養部 | Short-term dietary phosphate restriction up-regulates ileal fibroblast growth factor 15 gene expression in mice. | J Clin Biochem Nutr. Mar;54(2):P102-8. 2014. |
| 99 | Ohnishi R, Segawa H, Ohmoto T, Sasaki S, Hanazaki A, Mori A, Ikuta K, Furutani J, Kawakami E, Tatsumi S, Hamada Y, Miyamoto K. | 栄養部 | Effect of dietary components on renal inorganic phosphate (Pi) excretion induced by a Pi-depleted diet. | J Med Invest. 61(1-2):P162-70.2014. |

| | | | | |
|-----|---|-----|--|--|
| 100 | Kuwahara M, Bannai K, Segawa H, Miyamoto K, Yamato H. | 栄養部 | Cardiac remodeling associated with protein increase and lipid accumulation in early-stage chronic kidney disease in rats. | Biochim Biophys Acta.Sep;1842(9):P 1433-43.2014. |
| 101 | Teramoto A, Yamanaka-Okumura H, Urano E, Nakamura-Kutsuzawa T, Sugihara K, Katayama T, Miyake H, Imura S, Utsunomiya T, Shimada M, Takeda E. | 栄養部 | Comparison of measured and predicted energy expenditure in patients with liver cirrhosis. | Asia Pac J Clin Nutr 23(2):197-204, 2014 |
| 102 | Mori K, Kitazawa R, Kondo T, Mori M, Hamada Y, Nishida M, Minami Y, Haraguchi R, Takahashi Y, Kitazawa S. | 栄養部 | Diabetic osteopenia by decreased beta-catenin signaling is partly induced by epigenetic derepression of sFRP-4 gene. | PLoS One. 9(7): e102797,2014 |
| 103 | Nakahashi M, Mawatari K, Hirata A, Maetani M, Shimohata T, Uebanso T, Hamada Y, Akutagawa M, Kinouchi Y, Takahashi A. | 栄養部 | Simultaneous irradiation with different wavelengths of ultraviolet light has synergistic bactericidal effect on <i>Vibrio parahaemolyticus</i> . | Photochemistry and Photobiology, 90(6), pp. 1397-1403, Nov-Dec 2014 |
| 104 | Zhou B, Yamanaka-Okumura H, Adachi C, Kawakami Y, Katayama T, Takeda E. | 栄養部 | High-fat diet-related stimulation of sweetness desire is greater in women than in men despite high vegetable intake. | Public Health Nutr 18(7):1272-1281, 2015 |
| 105 | Negoro S, Shimohata T, Hatayama S, Sato Y, Matsumoto M, Iba H, Aihara M, Uebanso T, Hamada Y, Nishikawa Y, Yamasaki S, Mawatari K, Takahashi A. | 栄養部 | <i>Campylobacter jejuni</i> infection suppressed Cl ⁻ secretion induced by CFTR activation in T-84 cells. | Journal of Infection and Chemotherapy Vol. 20 (11), pp. 682-688, November 2014 |
| 106 | Tsutsumi R, Yoshida T, Nii Y, Okahisa N, Iwata S, Tsukayama M, Hashimoto R, Taniguchi Y, Sakaue H, Hosaka T, Shuto E, Sakai T. | 栄養部 | Sudachitin, a polymethoxylated flavone, improves glucose and lipid metabolism by increasing mitochondrial biogenesis in skeletal muscle. | 2014 Jul 4;11:32. doi: 10.1186/1743-7075-11-32. eCollection 2014 |
| 107 | Morimoto Y, Sakuma M, Ohta H, Suzuki A, Matsushita A, Umeda M, Ishikawa M, Taketani Y, Takeda E, Arai H. | 栄養部 | Estimate of dietary phosphorus intake using 24-h urine collection. | J Clin Biochem Nutr 55(1): 62-66, 2014 |
| 108 | Nishiokada A, Miyoshi M, Fujiwara M, Aoyama-Ishikawa M, Maeshige N, Takahashi M, Hamada Y, Usami Y, Honda M, Arita M, Usami M. | 栄養部 | Changes of hepatic lipid mediators associated with intake of high-fat diet for 12 weeks in endotoxemic rats using LC-ESI-MS/MS. | Clin Nutr. 34(4):685-693, 2014 |

| | | | | |
|-----|--|-----|---|---|
| 109 | Ohminami H, Amo K, Taketani Y, Sato K, Fukaya M, Uebanso T, Arai H, Koganei M, Sasaki H, Yamanaka-Okumura H, Yamamoto H, Takeda E. | 栄養部 | Dietary combination of sucrose and linoleic acid causes skeletal muscle metabolic abnormalities in Zucker fatty rats through specific modification of fatty acid composition. | J Clin Biochem Nutr 55(1): 15-25, 2014 |
| 110 | Chiba T, Matsuo H, Kawamura Y, Nagamori S, Nishiyama T, Wei L, Nakayama A, Nakamura T, Sakiyama M, Takada T, Taketani Y, Suma S, Naito M, Oda T, Kumagai H, Moriyama Y, Ichida K, Shimizu T, Kanai Y, Shinomiya N. | 栄養部 | NPT1/SLC17A1 is a renal urate exporter in humans and its common gain-of-function variant decreases the risk of renal underexcretion gout. | Arthritis Rheumatol 67(1):281-287, 2015 |
| 111 | Mutsumi Aihara, Xin Lian, Takaaki Shimohata, Takashi Uebanso, Kazuaki Mawatari, Yumi Harada, Masatake Akutagawa, Yohsuke Kinouchi, Akira Takahashi | 栄養部 | Vegetable Surface Sterilization System Using UVA Light-Emitting Diodes. | The Journal of Medical Investigation Vol. 61, No.3,4 pp.285-290, August 2014 |
| 112 | Tanemura Y, Yamanaka-Okumura H, Sakuma M, Nii Y, Taketani Y, Takeda E. | 栄養部 | Effects of the intake of Undaria pinnatifida (Wakame) and its sporophylls (Mekabu) on postprandial glucose and insulin metabolism. | J Med Invest 61(3-4): 291-297, 2014 |
| 113 | Hosaka T, Sasaga S, Yamasaka Y, Nii Y, Edazawa K, Tsutsumi R, Shuto E, Okahisa N, Iwata S, Tomotake H, Sakai T. | 栄養部 | Treatment with buckwheat bran extract prevents the elevation of serum triglyceride levels and fatty liver in KK-A(y) mice. | J Med Invest. 2014;61(3-4):345-52. |
| 114 | Segawa H, Ikuta K, Miyamoto K. | 栄養部 | New Developments in CKD-MBD. Molecular mechanisms of intestinal and renal phosphate transport. | Clin Calcium. Dec;24(12):P1793-9. 2014. |
| 115 | Fujiwara M, Miyoshi M, Sakai S, Nishiokada A, Aoyama-Ishikawa M, Maeshige N, Usami Y, Hamada Y, Takahashi M, Usami M. | 栄養部 | Lard-based high-fat diet increases secretory leukocyte protease inhibitor expression and attenuates the inflammatory response of acute lung injury in endotoxemic rats. | Clin Nutr. 34(5): 997-1009, 2014 |
| 116 | Kadomura-Ishikawa Y, Miyawaki K, Takahashi A, Masuda T, Noji S | 栄養部 | Light and abscisic acid independently regulated FaMYB10 in Fragaria × ananassa fruit. | Planta, Vol. 241(4), pp 953-965, April 2015 (2014 Dec 23. [Epub ahead of print]) |
| 117 | Watari E, Taketani Y, Kitamura T, Tanaka T, Ohminami H, Abuduli M, Harada N, Yamanaka-Okumura H, Yamamoto H, Takeda E | 栄養部 | Fluctuating plasma phosphorus level by changes in dietary phosphorus intake induces endothelial dysfunction. | J Clin Biochem Nutr 56(1): 35-42, 2015 |

| | | | | |
|-----|--|--------------|---|---|
| 118 | Tatsumi S, Nagamoto K, Ogata M, Miyamoto K. | 栄養部 | Bone and Nutrition. Sclerostin and bone metabolism. | Clin Calcium. 2015;25(7):1043-7.2015. |
| 119 | Kaneko I, Segawa H, Tatsumi S, Miyamoto K. | 栄養部 | Genetic diseases of renal phosphate handling. | Nihon Jinzo Gakkai Shi. 2015;57(4):758-65.2015. |
| 120 | Yuya Manabe, Miki Maetani, Akihiko Nagano, Kenji Teranishi, Naoyuki Shimomura, Akira Takahashi | 栄養部 | Influences of Pulsed Electric Fields on the Gene Expression of Pathogenic Bacteria. | IEEJ Transactions on Fundamentals and Materials, Vol.134 No.6 pp.390-396, June 2014 |
| 121 | Watanabe T, Saotome M, Nobuhara M, Sakamoto A, Urushida T, Katoh H, Satoh H, Funaki M, Hayashi H. | 糖尿病対策センター | Roles of mitochondrial fragmentation and reactive oxygen species in mitochondrial dysfunction and myocardial insulin resistance. | Exp Cell Res. Vol. 323, No. 2, pp314-25, 2014 |
| 122 | Heo KS, Cushman HJ, Akaike M, Woo CH, Wang X, Qiu X, Fujiwara K, Abe J. | キャリア形成支援センター | ERK5 activation in macrophages promotes efferocytosis and inhibits atherosclerosis. | Circulation 130:180-191, 2014. |
| 123 | Le NT, Takei Y, Izawa-Ishizawa Y, Heo KS, Lee H, Smrcka AV, Miller BL, Ko KA, Ture S, Morrell C, Fujiwara K, Akaike M, Abe J. | キャリア形成支援センター | Identifying ERK5 transcriptional activators by high throughput screening, and the crucial role of endothelial ERK5 in statins and anti-malarial agents-induced vaso-protective effects. | J Immunol 193(7):3803-3815, 2014 |
| 124 | Sapaar B, Nur A, Hirota K, Yumoto H, Murakami K, Amoh T, Matsuo T, Ichikawa T, Miyake Y. | 第一保存科 | Effects of extracellular DNA from Candida albicans and pneumonia-related pathogens on Candida biofilm formation and hyphal transformation. | Journal of Applied Microbiology, 116, 1531-1542, 2014 |
| 125 | Ito H, Numabe Y, Sekino S, Murakashi E, Iguchi H, Hashimoto S, Sasaki D, Yaegashi T, Kunimatsu K, Takai H, Mazawa M, Ogata Y, Watanabe H, Hagiwara S, Izumi Y, Hiroshima Y, Kido J, Nagata T | 第二保存科 | Evaluation of bleeding on probing and gingival crevicular fluid enzyme activity for detection of periodontally active sites during supportive periodontal therapy. | Odontology 102: 50-56 2014. |
| 126 | Ashrin MN, Arakaki R, Yamada A, Kondo T, Kurosawa M, Kudo Y, Watanabe M, Ichikawa T, Hayashi Y, Ishimaru N. | 第一補綴科 | A critical role for thymic stromal lymphopoietin in nickel-induced allergy in mice. | J Immunol. 2014 May 1;192(9):4025-31 |
| 127 | Nakamichi A, Matsuyama M, Ichikawa T. | 第一補綴科 | Relationship between mouthful volume and number of chews in young Japanese females. | Appetite. 2014 Dec;83:327-32. |

| | | | | |
|-----|---|--------|---|---|
| 128 | Galli S, Naito Y, Karlsson J, He W, Miyamoto I, Xue Y, Andersson M, Mustafa K, Wennerberg A, Jimbo R. | 第一補綴科 | Local release of magnesium from mesoporous TiO ₂ coatings stimulates the peri-implant expression of osteogenic markers and improves osteoconductivity in vivo. | Acta Biomater. 2014 Aug 18. pii: S1742-7061(14)00347-X. |
| 129 | Minakuchi H, Sogawa C, Hara ES, Miki H, Maekawa K, Sogawa N, Kitayama S, Matsuka Y, Clark GT, Kuboki T. | 第二補綴科 | Comparison of platelet serotonin transporter activity in subjects with severe sleep bruxism and control. | J Prosthodont Res 58(4) : 217-222, 2014 |
| 130 | Fueki K, Ohkubo C, Yatabe M, Arakawa I, Arita M, Ino S, Kanamori T, Kawai Y, Kawara M, Komiyama O, Suzuki T, Nagata K, Hosoki M, Masumi S, Yamauchi M, Aita H, Ono T, Kondo H, Tamaki K, Matsuka Y, Tsukasaki H, Fujisawa M, Baba K, Koyano K, Yatani H | 第二補綴科 | Clinical application of removable partial dentures using thermoplastic resin-Part II: Material properties and clinical features of non-metal clasp dentures. | J Prosthodont Res 58(2):71-84, 2014 |
| 131 | Yatani H, Komiyama O, Matsuka Y, Wajima K, Maruhama W, Ikawa M, Sakamoto E, Delaat A, Heie G.M. | 第二補綴科 | Systematic review and recommendations for nonodontogenic toothache. | J. Oral Rehabilitation 41(11) : 843-852, 2014 |
| 132 | Naomi Kawakubo, Jun J Miyamoto, Narumi Katsuyama, Takashi Ono, Ei-ichi Honda, Tohru Kurabayashi, Masato Taira, Keiji Moriyama | 歯科放射線科 | Effects of cortical activations on enhancement of handgrip force during teeth clenching: An fMRI study. | Neuroscience Research, 79, 67-75, 2014 |
| 133 | Hirose K, Kawahito S, Mita N, Takaishi K, Kawahara T, Soga T, Katayama T, Imura S, Morine Y, Ikemoto T, Shimada M, Matsuhisa M, Kitahata H | 歯科麻酔科 | Usefulness of artificial endocrine pancreas during resection of insulinoma. | The Journal of Medical Investigation 61(3, 4): 421-425, 2014 |
| 134 | Commisso MS, Martinez-Reina J, Mayo J, Dominguez J, Tanaka E | 矯正歯科 | Effect of non-uniform thickness of samples in stress relaxation tests under unconfined compression of samples of articular discs. | Journal of Biomechanics, 47(6):1526-1530, April. 2014 |
| 135 | Ishihara Y, Kuroda S, Takano-Yamamoto T, Yamashiro T | 矯正歯科 | Long-term stability of implant-anchored orthodontics in an adult patient with a Class II Division 2 malocclusion and a unilateral molar scissors-bite. | American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics 125(4S):S100-113, April.2014 |
| 136 | Watanabe T, Yasue A, Tanaka E | 矯正歯科 | Hypoxia-inducible factor-1alpha is required for transforming growth factor-beta1-induced type I collagen, periostin and alpha-smooth muscle actin expression in human periodontal ligament cells. | Archives of Oral Biology 59(6): 595-600, June.2014 |

| | | | | |
|-----|---|----------|---|---|
| 137 | Iwabuchi Y, Tanimoto K, Tanne Y, Inubushi T, Kamiya T, Huang YC, Kunimatsu R, Hirose N, Yoshioka M, Mitsuyoshi T, Tanaka E, Tanne K | 矯正歯科 | Effects of low-intensity pulsed ultrasound on the expression of cyclooxygenase-2 in mandibular condylar chondrocytes. | Journal of Oro & Facial Pain and Headache 28(3):261-268, Summer. 2014 |
| 138 | Nakajima A, Ito Y, Tanaka E, Sano R, Karasawa Y, Maeno M, Iwata K, Shimizu N, Shuler CF | 矯正歯科 | Functional role of TGF-beta receptors during palatal fusion in vitro. | Archives of Oral Biology 59(11):1192-1204, Nov. 2014 |
| 139 | Inoue M, Kuroda S, Yasue A, Horiuchi S, Kyung H-M, Tanaka E | 矯正歯科 | Torque ratio as a predictable factor on primary stability of orthodontic miniscrew implants. | Implant Dentistry 3(5):576-581, Oct. 2014 |
| 140 | Abe N, Kuroda S, Furutani M, Tanaka E | 矯正歯科 | Clinical assessment of new simulation software in orthognathic surgery. | International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery 44(1): 90-96, Jan. 2015 |
| 141 | Hattori-Hara E, Mitsui SN, Mori H, Arafurue K, Kawaoka T, Ueda K, Yasue A, Kuroda S, Koolstra JH, Tanaka E | 矯正歯科 | Influence of unilateral disc displacement on stress in the contralateral joint with normally-positioned disc in human temporomandibular joint. | Journal of Cranio-Maxillo-Facial Surgery 42(8): 2018-2024, Dec. 2014 |
| 142 | Asakawa-Tanne Y, Su S, Kunimatsu R, Hirose N, Mitsuyoshi T, Okamoto Y, Tanaka E, Tanne K, Tanimoto K | 矯正歯科 | Effects of enzymatic degradation after loading in temporomandibular joint. | Journal of Dental Research, 94(2):337-343, Feb. 2015 |
| 143 | Saito K, Fukumoto E, Yamada A, Yuasa K, Yoshizaki K, Iwamoto T, Saito M, Nakamura T, Fukumoto S. | 小児歯科 | Interaction between Fibronectin and beta1 Integrin Is Essential for Tooth Development. | PLoS One, 10(4) e0121667. 2015 |
| 144 | Maeda Y, Inoguchi T, Etoh E, Kodama Y, Sasaki S, Sonoda N, Nawata H, Shimabukuro M, Takayanagi R. | 心臓血管病態医学 | Brachial-ankle pulse wave velocity predicts all-cause mortality and cardiovascular events in patients with diabetes: the kyushu prevention study of atherosclerosis. | Diabetes Care 2014;37:2383-2390. |
| 145 | Natsuaki C, Inoguchi T, Maeda Y, Yamada T, Sasaki S, Sonoda N, Shimabukuro M, Nawata H, Takayanagi R. | 心臓血管病態医学 | Association of borderline ankle-brachial index with mortality and the incidence of peripheral artery disease in diabetic patients. | Atherosclerosis 2014;234:360-365. |
| 146 | Ueda S, Morimoto T, Ando S-I, Takishita S-I, Kawano Y, Shimamoto K, Ogihara T, Saruta T, the DIME Investigators. | 心臓血管病態医学 | A randomised controlled trial for the evaluation of risk for type 2 diabetes in hypertensive patients receiving thiazide diuretics: Diuretics In the Management of Essential hypertension (DIME) study. | BMJ Open 2014;4:e004576. |

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

| | |
|---|---------|
| ① 倫理審査委員会の設置状況 | 有 無 |
| ② 倫理審査委員会の手順書の整備状況 | 有 無 |
| ・ 手順書の主な内容 1. 臨床研究実施に係る標準業務について, 2. 臨床研究に関連する重篤な有害事象対応について 3. 研究者主導臨床研究におけるモニタリング又は監査の受入れについて | |
| ③ 倫理審査委員会の開催状況 | 年 1 2 回 |

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

| | |
|--|---------|
| ① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況 | 有 無 |
| ② 利益相反の管理に関する規定の整備状況 | 有 無 |
| ・ 規定の主な内容 1. 管理の概要, 2. 手続き及び方法, 3. 勧告及び監査 | |
| ③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況 | 年 1 2 回 |

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

| | |
|---|---------|
| ① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況 | 年 1 7 回 |
| ・ 研修の主な内容 臨床研究実施の基準と現状, 日本における倫理指針と倫理性担保, 倫理委員会申請手続き, CRC活動と臨床研究支援, 研究倫理, 先進医療 | |

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

希望する診療領域に応じて卒後3～5年を目途に基本領域の専門医取得し、その後、高度先進医療・先端医療を担うべくサブスペシャリティ領域の専門医取得を目指す。また本人の希望により、並行して社会人大学院に在籍して医学博士の取得や、臨床技術研鑽及び研究のための他施設(国内外)での研修も可能である。

2 研修の実績

| | |
|--------|------|
| 研修医の人数 | 248人 |
|--------|------|

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

| 研修統括者氏名 | 診療科 | 役職等 | 臨床経験年数 | 特記事項 |
|---------|------------|------|--------|-----------------|
| 梶 龍兒 | 内科 | 教授 | 36年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 佐田政隆 | 内科 | 教授 | 27年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 西岡安彦 | 内科 | 教授 | 27年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 高山哲治 | 内科 | 教授 | 29年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 土井俊夫 | 内科 | 教授 | 37年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 安倍正博 | 内科 | 准教授 | 31年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 佐田政隆 | 循環器内科 | 教授 | 27年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 梶 龍兒 | 神経内科 | 教授 | 36年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 高山哲治 | 消化器内科 | 教授 | 29年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 土井俊夫 | 腎臓内科 | 教授 | 37年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 栗飯原賢一 | 内分泌・代謝内科 | 講師 | 24年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 安倍正博 | 血液内科 | 准教授 | 31年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 西岡安彦 | 呼吸器・膠原病内科 | 教授 | 27年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 北川哲也 | 外科 | 教授 | 35年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 丹黒 章 | 外科 | 教授 | 34年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 島田光生 | 外科 | 教授 | 31年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 島田光生 | 消化器・移植外科 | 教授 | 31年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 先山正二 | 呼吸器外科 | 准教授 | 29年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 丹黒 章 | 食道・乳腺甲状腺外科 | 教授 | 34年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 石橋宏樹 | 小児外科 | 病院教授 | 26年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 北川哲也 | 心臓血管外科 | 教授 | 35年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 金山博臣 | 泌尿器科 | 教授 | 33年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 西良浩一 | 整形外科 | 教授 | 27年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 永廣信治 | 脳神経外科 | 教授 | 39年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 久保宜明 | 皮膚科 | 教授 | 27年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 三田村佳典 | 眼科 | 教授 | 28年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 武田憲昭 | 耳鼻咽喉科 | 教授 | 34年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 原田雅史 | 放射線科 | 教授 | 29年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 苛原 稔 | 産婦人科 | 教授 | 36年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 大森哲郎 | 精神科 | 教授 | 34年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 香美祥二 | 小児科 | 教授 | 35年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |
| 田中克哉 | 麻酔科 | 准教授 | 25年 | 診療科長・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者 |

| | | | | |
|------|-------|-----|-----|-------------|
| 橋本一郎 | 形成外科 | 准教授 | 27年 | 診療科長・プロム責任者 |
| 西村匡司 | 救急科 | 教授 | 34年 | 診療部長・プロム責任者 |
| 坂東良美 | 病理診断科 | 准教授 | 28年 | 診療部長・プロム責任者 |

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

| |
|---|
| <p>① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）</p> <ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容<ul style="list-style-type: none">1) 院内認定コース（院内） 看護部では、特定の専門領域において、3年以上の実務経験のある医療者を対象とした質の高い医療人を育成するために、院内認定コースを10コース開講している。規定の出席・試験・レポート評価が合格基準を満たしていれば、修了証及びバッジが授与される。取得後は専門性を生かした質の高いケアを、他職種とともにチームで患者に実践している。・研修の期間・実施回数 6月～3月・224回・研修の参加人数 39名 2) 院内認定コース：フォローアップ研修 院内認定取得者のためのフォローアップ研修を年に1回以上実施している。・研修の期間・実施回数 7月～1月・19回・研修の参加人数 87名 ・研修の主な内容 「医療技術職部門キャリア形成支援研修会」 医療技術職員を対象に、講師は各医療技術職からだけでなく医師、薬剤師、看護師、栄養士など多職種から迎え、各医療技術職員の日頃の業務に役立ち、キャリアアップにつながる研修を実施している。・研修の期間・実施回数 4月～3月・31回・研修の参加人数 延べ725名 ・研修の主な内容 「栄養セミナー」 栄養管理に必要な、栄養評価、経腸栄養、点滴などについて学ぶ。本セミナーに全回出席し、さらに病棟実習および症例報告の提出（3例）を行った場合は、NST加算のためのメンバー要件である「栄養管理に関わる所定の研修を修了した者」として修了証書が発行される。・研修の期間・実施回数 7月～12月・12回・研修の参加人数 延べ351名 |
| <p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p> <ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容<ul style="list-style-type: none">1) 役割拡大実践能力取得コース 医師が行う患者への説明は、限られた時間で、患者個々の理解度に合わせて行うことが出来ないため、医師に代わって、患者の身近にいる看護師が、患者の意思決定を支援することを目指し、治療検査等を含めた補足説明を担うために求められる能力を強化するプログラムを開発し、患者の意思決定を支援する看護師の育成を実施している。・研修の期間・実施回数 5月～3月・19回 |

・研修の参加人数 5名

2) 教育担当者研修

新人及び若手看護師への教育指導を効果的・効率的に実施するため、教育担当者育成プログラムを開発し、徳島大学医学部保健学科と連携して教育担当者の育成を実施している。

・研修の期間・実施回数 4月～3月・30回

・研修の参加人数 5名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

| | | |
|---------|---|--|
| 計画・現状の別 | 1. 計画 | 2. 現状 |
| 管理責任者氏名 | 病院長 安井 夏生 | |
| 管理担当者氏名 | ・総務課長 熊谷 圭司 ・手術部長 北川 哲也 ・看護部長 木田 菊恵 ・医事企画課長 森 裕之 | ・医療支援課長 木虎 章 ・薬剤部長 石澤 啓介 ・放射線部長 原田 雅史 ・診療支援部長 清水 裕次 |

| | 保管場所 | 管理方法 | |
|--|--|---------------------|----------------|
| 診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 | 各診療科（部），病院情報システム及びカルテ保管庫 | 電子媒体と文書ファイルで保管している。 | |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 従業者数を明らかにする帳簿 | 総務課 | 文書ファイルで保管している。 |
| | 高度の医療の提供の実績 | 医事企画課 | |
| | 高度の医療技術の開発及び評価の実績 | 総務課 | |
| | 高度の医療の研修の実績 | 総務課，医事企画課 | |
| | 閲覧実績 | 総務課 | |
| | 紹介患者に対する医療提供の実績 | 医事企画課 | |
| | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿 | 医事企画課，薬剤部 | |
| 第規一則号第一に掲げる十の第一項各号及び第九の二十第 | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 医療支援課 | 文書ファイルで保管している。 |
| | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 医療支援課 | |
| | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 医療支援課 | |
| | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医療支援課 | |
| | 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 医療支援課 | |
| | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 医療支援課 | |
| | 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 医療支援課 | |
| | 当該病院内に患者か | 医療支援課 | |

| | | | | |
|--|--------|---------------------------|--|--|
| | 一 項 | らの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | | |
|--|--------|---------------------------|--|--|

| | | 保管場所 | 管理方法 | |
|---|--|---|----------|----------------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則 第一 条の 十一 第一 項各 号及 び第 九条 の二 十三 第一 項第 一号 に掲 げる 体制 の確 保の 状況 | 院内感染のための指針の策定状況 | 医療支援課 | 文書ファイルで保管している。 |
| | | 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 医療支援課 | |
| | | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 医療支援課 | |
| | | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況 | 医療支援課 | |
| | | 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | 薬剤部 | |
| | | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 薬剤部 | |
| | | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | 薬剤部 | |
| | | 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 薬剤部 | |
| | | 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況 | ME管理センター | |
| | | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | ME管理センター | |
| 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | ME管理センター | | | |
| 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | ME管理センター | | | |

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

| | | | |
|----------------------------|------------|--|--|
| 計画・現状の別 | 1. 計画 | <input checked="" type="radio"/> 2. 現状 | |
| 閲覧責任者氏名 | 事務部長 大城 雅彦 | | |
| 閲覧担当者氏名 | 総務課長 熊谷 圭司 | | |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 総務課 | | |
| 閲覧の手続の概要 | | | |
| 閲覧請求を申請する者は、事前に担当部署に申請を行う。 | | | |

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

| | | | |
|-----------|--------|---|-----|
| 前年度の総閲覧件数 | | 延 | 0 件 |
| 閲覧者別 | 医師 | 延 | 0 件 |
| | 歯科医師 | 延 | 0 件 |
| | 国 | 延 | 0 件 |
| | 地方公共団体 | 延 | 0 件 |

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

| | |
|---|------|
| ① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 有・無 |
| <p>・ 指針の主な内容：</p> <p>徳島大学病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療（最先端医療を含む）を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 用語の定義2. 安全管理に関する基本的考え方3. 医療に係る安全管理のための取組に関する基本的事項4. 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針5. 医療上の事故等の報告に関する基本方針6. 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針7. 患者等からの相談への対応に関する基本方針8. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針9. その他医療安全の推進のために必要な基本方針 | |
| ② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 年12回 |
| <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>リスクマネジメント委員会（毎月原則1回）</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療上の事故等防止のための安全管理の方策に関すること。2. 医療上の事故等発生時の対応に関すること。3. 医薬品の安全使用に関すること。4. 医療機器の安全使用に関すること。5. その他医療上の事故等に関すること。 | |
| ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 年5回 |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成26年度</p> <p>第1回安全管理研修会 「睡眠薬の適正な使用について」</p> <p>第2回安全管理研修会 「医療安全における病棟薬剤師の役割」 「麻薬の取り扱いについて」</p> <p>第3回安全管理研修会 「転倒・転落予防へのチャレンジ」</p> <p>第4回安全管理研修会 「脳神経血管内治療における安全管理」 「消化器内視鏡に関する安全管理」</p> <p>第5回安全管理研修会 「インシデント発生時の対応」</p> | |
| ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | |
| <p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>事故報告等の報告に関しては、「徳島大学病院インシデント等発生時の報告に関する取扱要項」を定め、「インシデント報告システム」により報告される。報告されたインシデントは、リスクマネージャーからの報告や安全管理部リスクマネジメント部門員による現場確認及び当事者等の事情聴取により確認され、安全管理部リスクマネジメント部門会議（分析）において、インシデ</p> | |

ント報告書に基づき改善策を検討する。次に、リスクマネジメント部門会議（分析）での改善策をリスクマネジメント部門会議（全体）で検討する。さらに、これらの改善策をリスクマネジメント委員会で審議した上、リスクマネージャー連絡会でフィードバックする。次のステップとして、実施された改善策のうち、実施状況を把握する必要があると認められるインシデントについては、リスクマネジメント部門会議（評価）で評価し、改善策を検討する。上記と同様に、リスクマネジメント部門会議（評価）での改善策をリスクマネジメント部門会議（全体）で検討する。次に、これらの実施された改善策をリスクマネジメント委員会で審議した上、リスクマネージャー連絡会で再度フィードバックする。さらに、実施状況を把握する必要があると認められるインシデントについては、リスクマネジメント部門会議（評価）からリスクマネージャー連絡会でのフィードバックを繰り返し行う。（PDCA手法を取り入れている。）分析方法については、ひと月に1回、インシデント報告された、報告事例（ひと月約250件程度）を職種の違う担当者が分担して1件、1件、内容を確認し、インシデントへの意見等を出し合う。その中で、インシデントが警鐘的な事例や、インシデントが他部署にわたる事例など、また、全国的に頻発している事例などを選び、2～3事例、SHELL分析にて分析をしている。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況

有（2名）・無

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況

有（7名）・無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況

有・無

- ・ 所属職員： 専任（2）名 兼任（20）名
- ・ 活動の主な内容：

1. 本院において発生した医療上の事故等の原因究明，調査，分析及び対策の検討並びに当該医療上の事故等の再発防止に関すること。
2. 事故等に関する診療録及び看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び指導に関すること。
3. 患者及び家族への説明等事故発生時の対応状況についての確認及び指導に関すること。
4. 医療上の事故等の防止に関する教育及び研修の企画及び実施に関すること。
5. 医療上の事故等の防止に関する情報の収集及び提供に関すること。
6. 医療上の事故防止安全対策マニュアルの改訂に関すること。
7. インシデント報告の管理に関すること。
8. リスクマネジメント委員会で用いられる資料及び議事要録の作成及び保存，その他リスクマネジメント委員会の庶務に関すること。
9. 医療安全に係る連絡調整に関すること。
10. 医薬品の安全使用に係る連絡調整に関すること。
11. 医療機器の安全使用に係る連絡調整に関すること。
12. その他医療上の事故防止及び医療の安全性の向上に関すること。

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

有・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|--|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況 | 有 無 |
| <p>・ 指針の主な内容：</p> <p>徳島大学病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療(最先端医療を含む)を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。 特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 用語の定義2. 安全管理に関する基本的考え方3. 医療に係る安全管理のための取組に関する基本事項4. 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針5. 医療上の事故等の報告に関する基本方針6. 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針7. 患者等からの相談への対応に関する基本方針8. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針9. その他医療安全の推進のために必要な基本方針 | |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 年 15 回 |
| <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>感染対策委員会（毎月 1 回、臨時 3 回）</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染の予防及び対策に関すること。2. 院内感染防止の実施、監視及び指導に関すること。3. 院内感染発生時の措置に関すること。4. 職員の院内感染の教育に関すること。5. 感染制御部の運営に関すること。6. その他院内感染に関すること。 | |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 年 4 回 |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成 26 年度</p> <p>第 1 回感染対策研修会 「院内感染に関する最近の話題と標準予防策」 第 2 回感染対策研修会 「HIV 診療の基礎知識」 「～緊急報告～エボラ出血熱の現状と当院の対応」 第 3 回感染対策研修会 「あの日を忘れない！東日本大震災から感染対策を考える」 第 4 回感染対策研修会 「エボラ出血熱とは、またその対応について」</p> | |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況 | <p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 毎週 1 回、ICT ラウンドを計画的に実施、改善点を部署にフィードバックし、更に ICN ラウンドで確認している。2. 抗 MRSA 薬、カルバペネム系抗菌薬について、届出制を実施しているが、抗 MRSA については TDM |

- の実施状況と抗MRSAの適正使用について毎月検討している。
3. HIV/エイズ小委員会では、2ヶ月に1回委員会を開催し、院内のHIV症例の事例検討や検査結果の報告をしている。
 4. 職業感染対策として、全職員の抗体の有無を把握している。針刺し等事故対策としては、事故者からのヒアリングまたは面接をすべての事例で行い、改善策をフィードバックしている。
 5. ICUでのBSIサーベイランス、消化器外科・小児対象の心臓血管外科でのSSIサーベイランスを実施している。
 6. 教育体制として、①感染対策研修会、②部署別出張研修、③研修医研修、④看護師研修（新人、2年目、専門）、⑤感染管理院内認定コースに分けて計画している。

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|--|-------|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | 有・無 |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 年 4 回 |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <p>「薬剤の安全管理・処方の注意点と薬剤業務」</p> <p>「注意すべき薬剤について」</p> <p>「医療安全における病棟薬剤師の役割」</p> <p>「麻薬の取り扱いについて」</p> | |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | |
| <p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>各種薬剤業務，病棟における医薬品管理が適正に行われているかを病棟間相互チェック等の際に調査し，不備な点を指摘し改善している。</p> | |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| <p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>全病棟に薬剤師を配置し，持参薬を含め，病棟における医薬品の管理体制を整備した。 薬剤管理指導業務により得られた副作用情報を毎週薬局会で薬剤部員に周知している。</p> | |

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|------|
| ① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況 | 有・無 |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 年28回 |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1. 新しい医療機器の導入時の研修について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 使用した経験のない新しい医療機器を導入する際には、当該医療機器を使用する予定の医療従事者に対する研修会を実施し、その記録を保存している。・ 平成26年12月～平成27年3月までに、新しい医療機器導入時の対象機器は10機種（システム含む）であり、生化学自動分析装置、検体検査装置、全自動電気泳動装置、生化学・免疫統合分析装置、X線CTシステム、PET-CTシステムなどであった。研修内容は、主に機器の設置場所にて、医療機器販売メーカー担当者から各医療機器の操作方法、アラーム対応などの研修会を計10回実施した。 <p>2. 特定機能病院における定期研修について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 特定機能病院として、特に安全使用に際しての技術の習熟が必要と考えられる医療機器は定期的に研修会を実施し、その記録を保存している。・ 平成26年・27年度新採用者オリエンテーション（対象：医師、看護師）にて、医療機器の研修会として、輸液ポンプ・シリンジポンプについて実施した。研修内容は、正しい操作方法を身に付け、インシデントを予防するためのポイントを学ぶことを目的に実技研修も取り入れた研修会を計4回実施した。・ ME管理センター主催の医療機器の定期研修会（対象：医療従事者全職員）として、①パルスオキシメーター・電子血圧計、②医療ガス（医療用酸素ボンベ）・手動式肺人工蘇生器について実施した。研修内容は、正しい操作方法を身に付け、インシデントを予防するためのポイントを学ぶことを目的に実技研修も取り入れた研修会を計2回実施した。・ 病棟（東病棟、西病棟）、外来などの各部署から個別依頼された医療機器の研修会は不定期（要望依頼時）に実施している。平成26年度に実施した医療機器の研修会は、人工呼吸器、除細動器等を計14回実施した。平成27年4月～7月までに、実施した医療機器の研修会は、ベッドサイドモニター、血液透析装置、人工呼吸器を計4回実施した。臨床工学技士または医療機器製造販売メーカー担当者が医療機器の正しい操作方法、またはトラブルシューティングなどについて研修会を実施している。 | |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | |
| <p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容： 医療機器の定期保守点検（メーカー指定期間による）、プリベンティブメンテナンス、オーバーホールを医療機器販売メーカーへ依頼し、実施した。</p> | |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| <p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）の医薬品医療機器情報配信サービス（PMDAメディナビ）に登録し、「医薬品・医療機器等安全性情報」を収集し、2008年5月、薬剤部のホームページに掲載し、職員が閲覧できる環境に整備した。また2013年5月、「PMDA医療安全情報」及び「医療機器研修会（資料）」を病院情報システム（HIS）に掲載し、職員が閲覧できる環境に整備した。</p> | |

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

| | |
|--|--|
| ① 病院の機能に関する第三者による評価の有無 | <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 |
| <p>・ 評価を行った機関名, 評価を受けた時期 IS09001: 一般社団法人日本能率協会審査登録センター, 2014年12月9日~2017年12月17日 プライバシーマーク: 一般財団法人医療情報システム開発センター, 2014年5月17日~2016年5月16日 病院機能評価: 公益財団法人日本医療機能評価機構, 2012年5月28日~2017年5月27日 IS015189: 財団法人日本適合性認定協会, 2011年7月6日~2015年7月5日</p> | |

(注) 医療機能に関する第三者による評価については, 日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

| | |
|---|--|
| ① 果たしている役割に関する情報発信の有無 | <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 |
| <p>・ 国立大学附属病院評価指標を病院HPにて情報発信 国立大学附属病院評価指標は, 全国の国立大学病院が, 自主的・主体的に自院の機能の質向上を図ると共に, 取り組み状況や成果を社会に開示し, 理解と信頼を得ることを目的に, 共通の指標として国立大学附属病院長会議が策定したものであり, この趣旨に則り評価指標の数値を公表している。</p> <p>・ 徳島大学病院フォーラム (春・秋) の開催 徳島大学病院フォーラムは, 大学病院が果たす地域医療への貢献の一環として, 地域の皆さまに最新の医療を知っていただくため市民公開講座として, 春と秋の年2回開催している。</p> | |

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

| | |
|--|--|
| ① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無 | <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 |
| <p>耳鼻科と歯科の連携 摂食・嚥下リハビリテーションを必要とする入院患者に対して, リハビリテーション部医師, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師, 歯科医師, 言語聴覚士が連携し, カンファレンスを継続して実施している。また, 診断の際に必要なVE (嚥下内視鏡検査) の診断について, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科と協力して実施している。</p> <p>医科と歯科の連携 医科入院患者およびICU患者, 手術・放射線・化学療法前患者に対して口腔管理センター・口</p> | |

腔内科が窓口となって口腔ケアを実施している。さらに特定の診療科（精神科神経科，心臓血管外科，消化器・移植外科）に特化した口腔ケア体制を構築している。

矯正歯科と形成外科の連携

口蓋裂患者及び顎変形症患者のチーム診療を行うため，カンファレンスを定期的を実施し，口蓋裂患者，顎変形症患者の，口腔外科及び矯正歯科と形成外科・美容外科間の診療ネットワークを構築している。